

平成30年度

第2回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	平成30年度 市政モニター 179人
調査期間	平成30年9月3日(月)～平成30年9月17日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	④ 文化振興事業について ⑤ Hello!NEW 新居浜の取り組みについて ⑥ ペット動物について

回答率

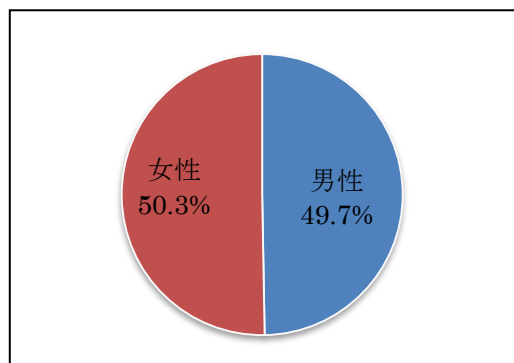
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
④	179	161	89.9%
⑤	179	153	85.5%
⑥	179	151	84.4%

2 市政モニター内訳(※平成30年9月3日時点)

<性別>

(単位:人)

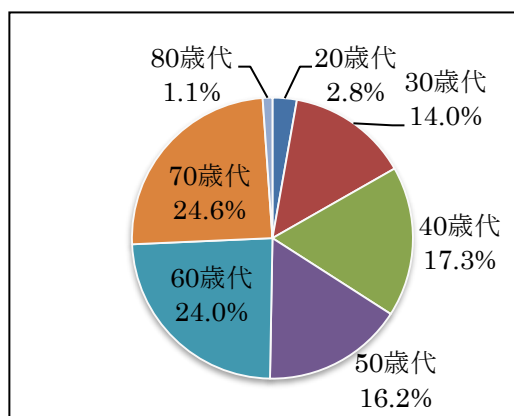
男性	89 (49.7%)
女性	90 (50.3%)
合計	179 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	3	5 (2.8%)
30歳代	3	22	25 (14.0%)
40歳代	12	19	31 (17.3%)
50歳代	13	16	29 (16.2%)
60歳代	27	16	43 (24.0%)
70歳代	30	14	44 (24.6%)
80歳以上	2	0	2 (1.1%)



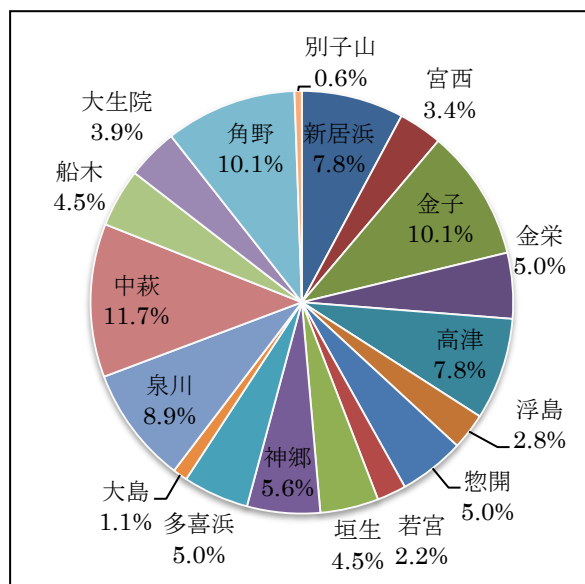
※年齢は平成30年4月1日時点

<居住地(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	1	13	14 (7.8%)
宮西	4	2	6 (3.4%)
金子	12	6	18 (10.1%)

金栄	4	5	9 (5.0%)
高津	8	6	14 (7.8%)
浮島	3	2	5 (2.8%)
惣開	3	6	9 (5.0%)
若宮	2	2	4 (2.2%)
垣生	3	5	8 (4.5%)
神郷	6	4	10 (5.6%)
多喜浜	2	7	9 (5.0%)
大島	2	0	2 (1.1%)
泉川	11	5	16 (8.9%)
中萩	11	10	21 (11.7%)
船木	5	3	8 (4.5%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	9	9	18 (10.1%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



<回答方法 種別>

(単位：人)

郵送モニター	103 (57.5%)
Eメールモニター	76 (42.5%)
合計	179 (100.0%)

<選任方法 種別>

(単位：人)

公民館推薦	97 (54.2%)
公募	82 (45.8%)
合計	179 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ④ 文化振興事業について

【調査趣旨】

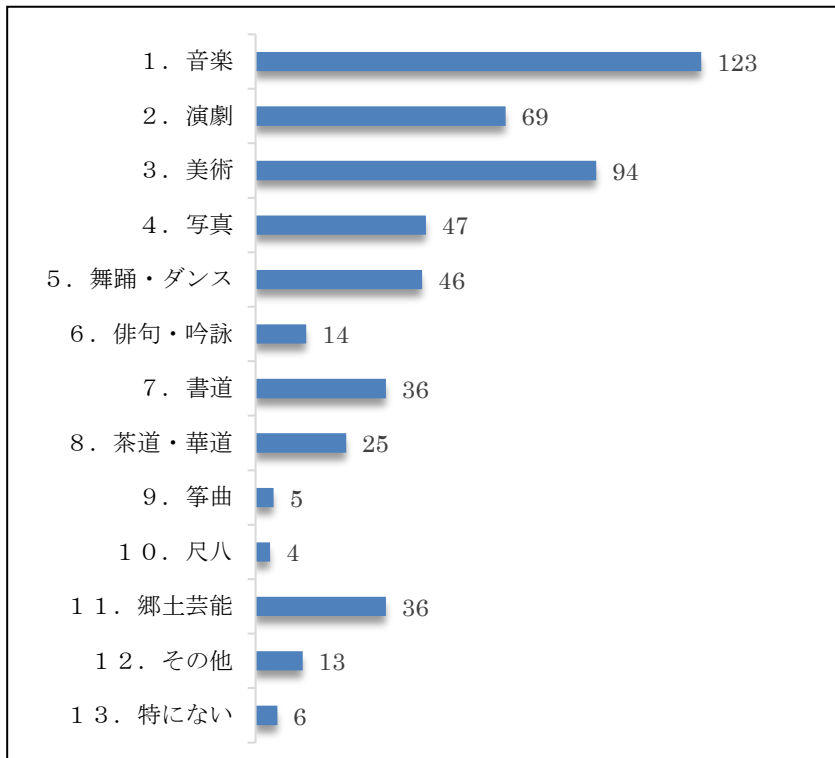
新居浜市では、芸術文化振興を総合的、効果的に推進するため、指針となる「芸術文化振興計画」を策定することとしています。今回のアンケートでは、昨年12月に行った「新居浜市における文化振興について」のアンケート結果を踏まえた上で、さらに芸術文化について市政モニターの皆さんのご意見等をお聞きし、芸術文化振興計画の基礎資料にしたいと考えていますので、アンケートへのご協力をお願いします。

(担当課：文化振興課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたが興味のある、鑑賞してみたいと思う、芸術文化は何ですか。(複数選択)

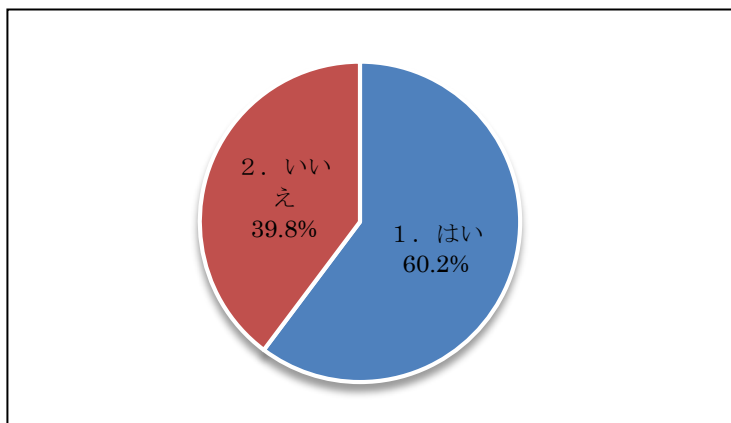
1. 音楽	123人
2. 演劇	69人
3. 美術	94人
4. 写真	47人
5. 舞踊・ダンス	46人
6. 俳句・吟詠	14人
7. 書道	36人
8. 茶道・華道	25人
9. 箏曲	5人
10. 尺八	4人
11. 郷土芸能	36人
12. その他	13人
13. 特にない	6人



「1. 音楽」(123人)、「3. 美術」(94人)、「2. 演劇」(69人)などが、興味のある、鑑賞してみたいと思う芸術文化として多く挙げられています。

問3. あなたは、過去1年間で、新居浜市で行われた美術展やコンサートなどを鑑賞しましたか。(1つ選択)

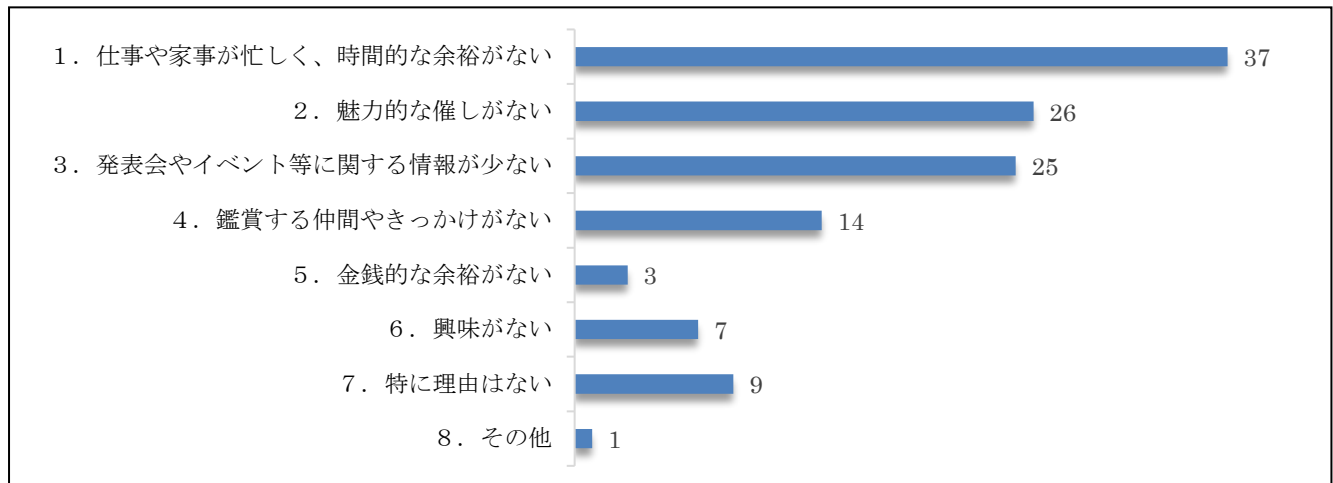
1. はい	97人
2. いいえ	64人
合計	161人



「1. はい」(60.2%)と答えた方が「2. いいえ」(39.8%)をやや上回り、全体の6割以上となっています。

問4. 問3で「2. いいえ」と答えられた方にお聞きします。芸術文化を鑑賞されなかった理由は何ですか。(複数選択)

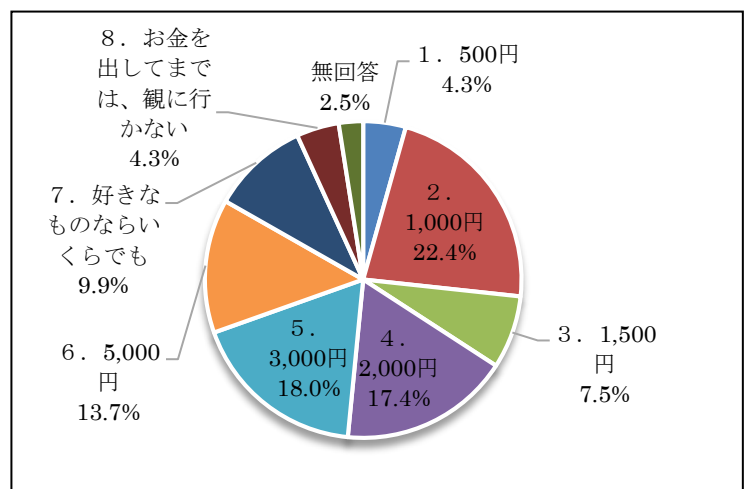
1. 仕事や家事が忙しく、時間的な余裕がない	37人
2. 魅力的な催しがない	26人
3. 発表会やイベント等に関する情報が少ない	25人
4. 鑑賞する仲間やきっかけがない	14人
5. 金銭的な余裕がない	3人
6. 興味がない	7人
7. 特に理由はない	9人
8. その他	1人



「1. 仕事や家事が忙しく、時間的な余裕がない」(37人)、「2. 魅力的な催しがない」(26人)、「3. 発表会やイベント等に関する情報が少ない」(25人)などが芸術文化を鑑賞しなかった理由として多く挙げられています。

問5. 興味、関心のある芸術文化を鑑賞するためなら、いくらまでならチケット購入費用を出されますか。(1つ選択)

1. 500円	7人
2. 1,000円	36人
3. 1,500円	12人
4. 2,000円	28人
5. 3,000円	29人
6. 5,000円	22人
7. 好きなものならいくらでも	16人
8. お金を出してまでは、観に行かない	7人
無回答	4人
合計	161人



「2. 1,000円」(22.4%)と答えた方が最も多く、次いで「5. 3,000円」(18.0%)、「4. 2,000円」(17.4%)、「6. 5,000円」(13.7%)の順となっています。

問6. 昨年12月の市政モニターアンケートの結果をもとにお尋ねします。

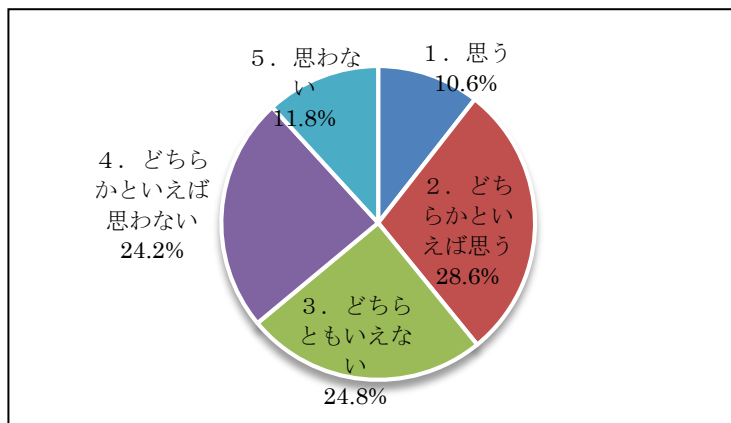
『文化の香り高いまち』という言葉からどのようなまちをイメージしますか。』の問いに対し、多数の方が「美術や音楽を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち」、「子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまち」、「身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしているまち」、「伝統的な文化が大切に継承されているまち」を選ばれました。

そこで、それぞれについて、新居浜市の現状をおたずねします。

新居浜市は、「美術や音楽を身近に鑑賞、活動できる場所があるまち」だと思いますか。

(1つ選択)

1. 思う	17人
2. どちらかといえば思う	46人
3. どちらともいえない	40人
4. どちらかといえば思わない	39人
5. 思わない	19人
合計	161人



「1. 思う」(10.6%)または「2. どちらかといえば思う」(28.6%)と答えた方と、「5. 思わない」(11.8%)または「4. どちらかといえば思わない」(24.2%)と答えた方がほぼ同数で、意見が分かれました。

問7. 問6の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方の意見】

- ・あかがねミュージアムができて、コンサート、映画、書道展、美術展など多く鑑賞できるようになった。
- ・あかがねミュージアムができて、少しレベルアップしたような気がする。企画する側も力が入っていて良い。
- ・あかがねミュージアムで常に何かの展示があるので。
- ・以前から見ると、あかがねミュージアムができてから市民の発表の場（美術、写真等）ができた。美術館も良くなり、内容も良くなったと思う。
- ・あかがねミュージアムは他市に比べて水準が高いと思う。
- ・あかがねミュージアムは子どもと一緒に行きやすいので、美術や音楽鑑賞が身近に感じられるようになった。
- ・市民文化センターやあかがねミュージアムがあるから。各公民館や学校での文化祭も行われているから。
- ・自分の見たいコンサートの鑑賞はできないが、それなりに興味のあるイベントが開催されているので。
- ・あかがねミュージアム、市民文化センター、高齢者生きがい創造学園、ウイメンズプラザ、公民館等で色々なサークルに入り活動できる。
- ・新居浜市は芸術家や文化人などをたくさん輩出されているから。画家も多数おられて、素晴らしいです。
- ・あかがねミュージアムは設備も整っており、足を運びやすい。ただ、あまり興味深い個展がなかったり、興味があるコンサートがあっても直前まで知らなかったりしたことから、宣伝力不足と思う。
- ・贅沢を言うときりが無いと思います。今、あるものを最大限利用すれば良いです。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

- ・あかがねミュージアムが最近オープンしたが規模が小さく、市民文化センターのリニューアルが待たれる。
- ・名の通った美術館、音楽施設がない。もっともっと有名人が新居浜に来るような魅力がほしい。
- ・ハコモノ（市民文化センター、あかがねミュージアムなど）は一応そろっているが、内容が今一つ。
- ・努力は感じるが、今はまだ発展中だと感じるから。
- ・身近に鑑賞、活動と言うと、まだそこまでではない。自治会館や公民館で鑑賞、活動ができると良いと思う。

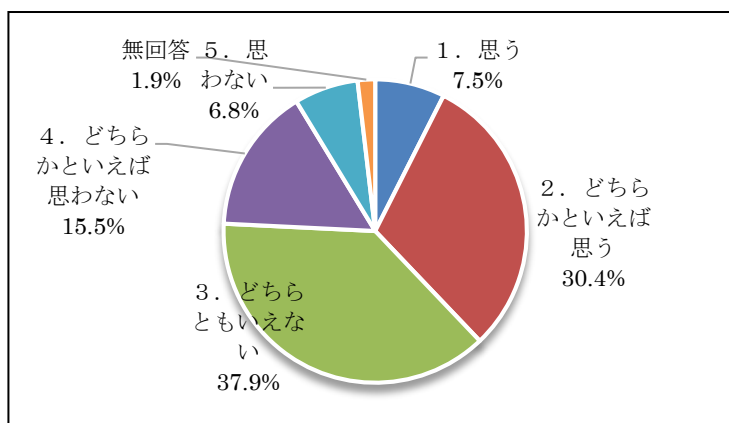
【「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」と答えた方の意見】

- ・市民文化センターが老朽化し、あかがねミュージアムのホールは規模が小さく、いわゆる大物ミュージシャンのコンサート等が開催されず、それらを鑑賞するためには松山や高松に行くしかない。
- ・大きな会場がない。あかがねミュージアムでは小規模な催しはできるが、それでは話題性が小さく、対外的なインパクトが薄いと感じる。
- ・場所的に不便だったり、大きさも中途半端、駐車場も少なかつたりが多いと思います。
- ・催しものが少なすぎる。若者から高齢者まで楽しめるものがない。
- ・県内の他市町では、人気のコンサートが行われていたり、美術鑑賞もしているのに、新居浜で行われているのは興味の持てないものが多いと思う。
- ・音楽を自由に発表できる場所や施設がない。利用するには面倒な手続きが必要。
- ・演劇をしていますが、新居浜ではなかなか演劇ワークショップを受けられません。演劇の稽古をしたくても、できる会場があまりありません。演劇活動への金銭的補助などの相談や申請窓口なども見当たらないです。
- ・「身近に」と思えないからです。
- ・あかがねミュージアムや美術館、市民文化センターなどに行かなければ、美術や音楽に触れることができない気がします。公園や広場でアートや音楽を、見たり、聴いたりすることもないので。
- ・あかがねミュージアムができて数年経つが、実感として身近に感じられない。例えば、観覧料は市民割引を適用するなど、市民に対するインセンティブがほしい。
- ・工業都市のイメージが未だ強い。
- ・文化や伝統に関しては、太鼓台を筆頭に、伝承していけるまちだとは思いますが、美術や音楽を身近に感じられるかどうかは、どちらかというともあまり身近ではないイメージである。

問8. 新居浜市は、「子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまち」だと思いますか。

(1つ選択)

1. 思う	12人
2. どちらかといえば思う	49人
3. どちらともいえない	61人
4. どちらかといえば思わない	25人
5. 思わない	11人
無回答	3人
合計	161人



「3. どちらともいえない」(37.9%)と答えた方が最も多く、次いで「2. どちらかといえば思う」(30.4%)と答えた方が多くなっています。

問9. 問8の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方の意見】

- ・あかがねミュージアムやマイントピア別子が身近にあり、文化に触れるアイテムがある。
- ・愛媛県総合科学博物館の企画が多く催されている。
- ・子ども向けのワークショップが充実しており、また子育て支援についても充実している。
- ・学校行事で地域のことを学んだり、イベントも多いと思う。
- ・小学校、中学校のカリキュラムで、新居浜の歴史や文化を学ぶ時間が多くあるから。
- ・住友の数百年の歴史があり、また遺跡が市内全域に数多くある。
- ・別子銅山の歴史を小学校で学んだり、話を聞くことによって、心豊かに成長すると思います。
- ・これは一例ですが、多喜浜小学校にある塩田資料館で塩作り教室を行っています。市内の小学生がたくさん来て、塩作りを体験しています。非常に良いことだと思います。
- ・子どもが地域に溶け込み、文化を大切に育てていると思う。
- ・太鼓祭りのように、小さい時から体験できる伝統的文化があるから。
- ・年末のしめ縄作りや凧揚げ大会など、子どもと高齢者との触れ合いの場が持たれている。子ども太鼓もある。
- ・地域の芸能の伝統も、「子どもたちが参加できるものを」と考えて活動し、校区の小学生も保護者と共に参加しているとよく耳にする。まだまだ少ないかもしれないが、大人が中心で子どもと共に文化に触れ合うことができる地域になればと思う。
- ・県内の各市町に先駆けてスタートし始めた、公民館活動「コミュニティスクール」への期待大です。
- ・新居浜みらい会議のような子どもも参加できるプロジェクトに期待している。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

- ・子どもがいないのでわからない。
- ・文化とは具体的に何か、心豊かに成長できるとはどんな状態かによる。
- ・子どもに触れさせたい外部からのイベントが少ないように思う。
- ・子どもを対象とした文化施設が乏しい。町全体に子どもを包み込む雰囲気が少ない。もう一つ、自然の中に憩いの場、三世代交流の場、コミュニケーションを図れる場がほしい。
- ・太鼓祭り等の伝統文化には直接触れることができるが、他の文化は思い当たらない。
- ・秋祭りや塩田、住友の歴史などを学校でも学んだり、参加して楽しんだり是可以する。しかし、「心豊かに」と言うには、新居浜市を好きになるように思える何かが足りない気がします。
- ・あかがねミュージアムは中学生、高校生が入場している姿が見かけられない。

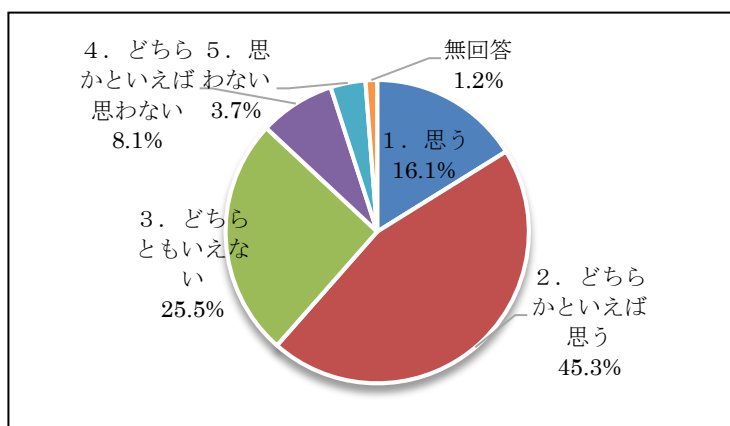
【「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」と答えた方の意見】

- ・子どもたちが文化に触れられる機会があるとは思えない。
- ・祭り以外に力を入れている感じがしないから。
- ・音楽や美術の一級品に触れる機会が少ない。
- ・関連する催し物が少ない。設備・施設も少ない。
- ・中学・高校生が主体となった活動が見えない。
- ・子ども向け活動が少ない。子どもたちを呼び込む知恵がほしい。
- ・こういった場面が、子どもたちが文化に触れられる場面なのか伺いたい。家庭で費用を費やしてピアノやダンスを習わせるというのではなく、費用をかけずに気軽に体験できる機会を多くつくる必要があると思う。

- ・俳句甲子園みたいに学生参加のイベント等あればいいと思う。
- ・子どもたちが文化に触れる機会は、そのほとんどが学校での授業等に頼っているのが現状である。文化に触れさせたいのであれば、その拠点となる場やイベントを市が確保する必要がある。
- ・文化施設に乏しいのも一因だが、親たちの文化、芸術への関心が薄いので子どもに対してそれに目をむけさせようとしていない。

**問 10. 新居浜市は、「身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしているまち」だと思いますか。
(1つ選択)**

1. 思う	26 人
2. どちらかといえば思う	73 人
3. どちらともいえない	41 人
4. どちらかといえば思わない	13 人
5. 思わない	6 人
無回答	2 人
合計	161 人



「1. どちらかといえば思う」(45.3%)と答えた方が最も多く、次いで「3. どちらともいえない」(25.5%)、「1. 思う」(16.1%)の順となっています。

問 11. 問 10 の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方の意見】

- ・南に四国山地、北に瀬戸内海を有し、市内にも緑あふれる自然環境があり、別子銅山という世界的な歴史遺産があるから。
- ・自然豊かで、歴史を感じられる建物や施設もあって、子どもが自然や歴史に触れ合う機会は多くあると思う。
- ・新居浜市は歴史があり、市民もそれがわかっていると思う。
- ・産業遺産をとっても大切にし、残そうとしています。
- ・塩田や銅山、工業地帯など跡地を大切に保存している。何より太鼓祭りの維持は、それ自体が文化歴史、誇りである。
- ・マイントピア別子や広瀬公園、滝の宮公園、山根周辺、多喜浜等、歴史を感じられる場所があるので。
- ・市内と見てみると、他市にはない緑が多いまちのイメージがあります。いたるところに自然、歴史を感じる場所が市内一円にあるのではないかと感じています。
- ・小学校でも新居浜の身近な歴史や文化について調べたり、習う機会もわりと多いと思う。
- ・新居浜南高校ユネスコ部の方に、あかがねミュージアムを案内してもらいました。県外から引っ越してきたと話すとき、別子銅山など案内します、と言ってくれた。市民が照会してくれるのっていいなと思った。
- ・身近な自然と言えば公園ですが、草が抜かれ、トイレも綺麗になり、利用しやすくなってきていると思う。
- ・海、川、山と自然に触れる機会はあると思う。市民が大切にしているかはわからない。清掃活動やごみを落とさないなどの啓発は必要だと思う。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

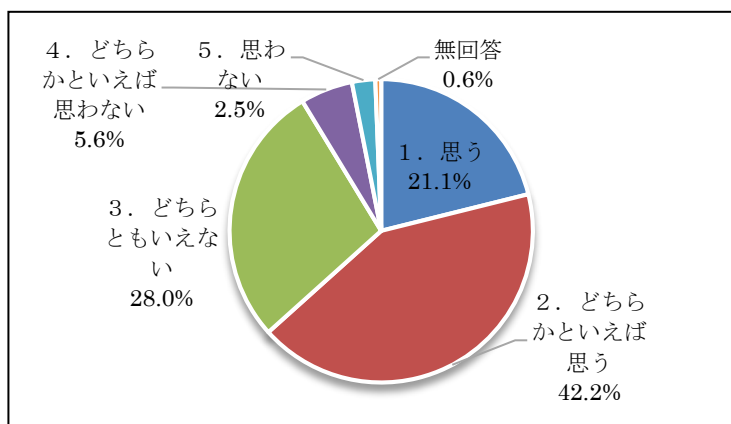
- ・日頃、自然を感じることはあるが、歴史を感じることはあまりない。
- ・身近に銅山があり、それに伴う自然、歴史があるが、その自然や歴史を有効活用してほしいです。
- ・産業遺産をはじめ、身近にあるのだがPRが不足している。
- ・自然に触れられる場所はあるが、大切にしているとは思えない。どこに行ってもごみだらけ。
- ・自然の海、山はあるのだが、孫と一緒に連れて行く遊び場としては考えられない。施設がない。マイントピア別子も何度も連れて行く場所ではない。
- ・自然は身近にあり、災害も少ないまちだと思うが、歴史という点においては、もっと学習する必要がある。
- ・自然が活かされているかは今一步。なぜか歴史とうまくマッチしないように思われる。市内にもう少し、緑を中心とした憩いの場があればよい。
- ・工業のまちのイメージが強いです。

【「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」と答えた方の意見】

- ・市民にそのような意識を感じない。
- ・マイントピア別子や広瀬公園に行けば歴史を感じられるけれど、遠い。
- ・「市民が大切にしているまち」というのは今一つ。道路に車の灰皿をぶちまけたり、川にごみを捨てたり、というのをよく見かける。
- ・新居浜市には、身近に自然や独自の歴史があるけれど、海や山や川の風景が美しくなっているとは思えない。特に市民に身近な川を含めた景観が良くなると、歩きたくなる素敵なまちになると思います。
- ・どちらか言えば、祭り一色なイメージ。柄が悪いイメージしかない。
- ・別子銅山などの歴史的な観光地はあるが、市民には「あって当たり前」のような感覚で、それをもっと活かそうという意気込みがあまり感じられないように思う。もったいないという印象です。
- ・どんな自然・歴史があるか知らない人が多いと思います。
- ・古い物は壊して新しい物へ、という考え方が強いと感じます。古い物を大切に保つために費用をかけることが当たり前という感覚が大切だと思います。
- ・自然は豊かだと思うが、整備されていない。歴史は、別子銅山の歴史や人物について詳しくて、お話も上手な方がおられるのに、市民講座などで話を聞く機会がなくて残念です。

問12. 新居浜市は、「伝統的な文化が大切に継承されているまち」だと思いますか。(1つ選択)

1. 思う	34人
2. どちらかといえば思う	68人
3. どちらともいえない	45人
4. どちらかといえば思わない	9人
5. 思わない	4人
無回答	1人
合計	161人



「2. どちらかといえば思う」(42.2%)と答えた方が最も多く、次いで「3. どちらともいえない」(28.0%)、「1. 思う」(21.1%)の順となっています。

問13. 問12の選択肢を選んだ理由を教えてください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. 思う」「2. どちらかといえば思う」と答えた方の意見】

- ・祭りを中心に、受け継ぐ文化が継承されていると思う。
- ・代表的なもので言えば太鼓祭り、子どもたちが一番楽しみにしている行事である。
- ・太鼓祭りは市民が大切にしている文化で、それがよく伝わっているように思う。
- ・お祭りが盛んで、もっと盛り上げよう、有名にしようという意思を感じられるから。
- ・市内各所に太鼓台があって、祭りの伝統文化を大切に思っている。ただ、中にはルール違反をする太鼓台があるので、祭りに対してマイナスイメージがある。
- ・太鼓台をはじめ、それぞれの地域に根付いた文化がある。
- ・地域を大切に、子ども・大人が一堂に集って行事等に参加している。
- ・郷土芸能が校区で継承されている。
- ・太鼓祭り、般若入れ、とうど焼きといった地域の伝統行事が多くの自治会で継承されている。
- ・新居浜の文化と言えば別子銅山関係で、その歴史は大切に保存されているから。
- ・住友の産業遺産を大切に継承していると思う。マイントピア別子や水力発電所の保存、山田社宅など。
- ・伝統的な文化が大切に継承されているまちだと思うが、市民に温度差があるように感じる。もっとたくさんの市民に、伝統的な文化に興味を持ってもらえるような工夫が必要だと思う。
- ・新居浜市民は、新居浜を愛している方が多い。
- ・太鼓祭りがあることは新居浜にとって誇らしいと思います。市民の皆さん、観に来てくださる皆さんが、「良かった」と思えるお祭りを開催していくことが大切なのだなあ、と思います。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

- ・秋祭りの継承は素晴らしいと思うが、毎年、喧嘩などの問題が起こっており、大切に継承されているとは思わないから。
- ・太鼓祭りは継承されていると思うが、祭礼ではなくイベント色が強く、観光資源化しているように思う。
- ・伝統的イコール、太鼓祭りという気がして、それだけしかないのかなあ、と思う。
- ・太鼓台だけが伝統文化ではないと思う。
- ・伝統文化の中で大切に継承されているものもあれば、そうでないものもあり、一概には言えない。
- ・自治会から若い人がいなくなっているので、継承が難しい。子ども太鼓台もなくすとか、そんな話ばかり。
- ・太鼓台は大事に継承されていると言えるが、地区の芸能は廃れてきているのではないかな。

【「4. どちらかといえば思わない」「5. 思わない」と答えた方の意見】

- ・本市にとって最大の文化は秋祭りの太鼓台の運行だと思う。いつまでたっても平和運行が実現されず、多くの市民をがっかりさせている。
- ・太鼓だけ大事にしているイメージがある。
- ・新居浜太鼓祭りは、ある意味確実に継承されている。しかし、それ以外はそれぞれの団体任せになっている。
- ・伝統的な文化がほとんど皆無。
- ・若い人が文化に参加しない。
- ・文化祭がなさすぎます。
- ・太鼓祭りが全面に出ていることもあって、他の文化行事や芸能の情報発信が少ないと思う。
- ・関係者を除き、多くの市民はその意識がほとんどないと思う。
- ・そもそも伝統的な文化とは何か知らない。

<まとめ>

今回のアンケートは、市民の皆さんの文化芸術に関する意識調査を行い、現在策定中である「文化芸術振興計画」に活用させていただくために実施させていただきました。

「過去1年間で新居浜市で行われた美術展やコンサートなどを鑑賞しましたか」の問いに対し、60.2%の方が「はい」と答えられ比較的多くの方が文化芸術に触れているという結果となりました。しかし、「いいえ」と答えられた方は39.8%おり、鑑賞しなかった理由として「仕事や家事が忙しく、時間的な余裕がない」「魅力的な催しが少ない」「発表会やイベント等に関する情報が少ない」などが挙げられました。市民が鑑賞してみたいと思う、「音楽」「美術」「演劇」などを中心とした魅力的なイベントの開催や効果的な情報発信など、今後施策を進めていく上での課題であると考えています。

また昨年12月に行ったアンケートでの「文化の香り高いまち」という言葉からどのようなまちをイメージしますか」の問いに対して回答の多かった4つの項目について、新居浜市の現状をお伺いしたところ、「美術や音楽を身近に鑑賞、活動できる場所があるまちだと思いますか」については、「思う」または「どちらかといえば思う」と答えた方と、「思わない」または「どちらかといえば思わない」と答えた方はほぼ同数であり、あかがねミュージアムができたことにより鑑賞する機会が増えたという意見もありましたが、新居浜市で行われているものには興味を持っていない、もっと有名人のコンサートを行って欲しいといった意見もありました。「子どもが文化に触れ、心豊かに成長できるまちだと思いますか」については、「どちらともいえない」と答えられた方が多く、子どもに触れさせたいイベントが少ないといった意見がありました。「身近に自然・歴史が感じられ、市民が大切にしているまちだと思いますか」については、「どちらかといえば思う」と答えられた方が多く、産業遺産を大切に、残そうとしている取り組みが評価されているようです。最後に「伝統的な文化が大切に継承されているまちだと思いますか」については、「どちらかといえば思う」と答えられた方が多く、地域での伝統行事が太鼓祭りも含め継承されているといった意見がありました。

今回のアンケートからは、3年前にあかがねミュージアムがオープンしたことにより施設環境の向上が図られ、市民が文化芸術に触れる機会が多くなるとともに、市民の文化活動が充実しつつある様子が伺えました。ただ、あかがねミュージアムのホールの規模が小さいことから大規模なイベントが実施しにくいという意見も多く、老朽化が進む市民文化センターのリニューアルも市民に強く望まれているようです。

また、歴史や伝統文化については別子銅山産業遺産と新居浜太鼓祭りが主なイメージとなっているようですが、別子銅山開坑以前の歴史があまり市民に知られていないことも伺われ、縄文時代から脈々と伝わる郷土の古い歴史を市民の方にもっと知っていただく必要があると感じました。

市におきましては、今回のご意見を参考に、文化芸術活動の指針となる「文化芸術振興計画」の策定に向け取り組んで参りたいと思います。今後とも文化芸術振興に関する取り組みに対するご理解とご協力をお願いします。

(担当課：文化振興課)

テーマ⑤ Hello!NEW 新居浜の取り組みについて

【調査趣旨】

新居浜市では、市の魅力を市内外へ情報発信し、移住・定住の促進や交流人口（本市を訪れる人）の拡大へつなげるとともに、市民の地域に対する愛着や誇りを高めることを目的として、平成28年度に「新居浜市シティブランド戦略」を策定しました。

この戦略に基づいて、平成29年度は「Hello!NEW 新居浜」のシンボルマークを掲げ、Hello!NEW 新居浜宣言を行うとともに、タブロイド紙の全戸配布や新聞等への掲載、Hello!NEW 新居浜ビッグマップの市内巡回、新居浜みらい会議の開催など、まずは「市民の共感と理解」を得ることを目的とした取組をスタートさせました。

本年度は、Hello!NEW プロジェクトを本格始動させ、さらなる広報宣伝に努めるほか、「市民とともに動く、動かす」ことを目的に、行政の各分野における様々な取組を加速させることとしています。

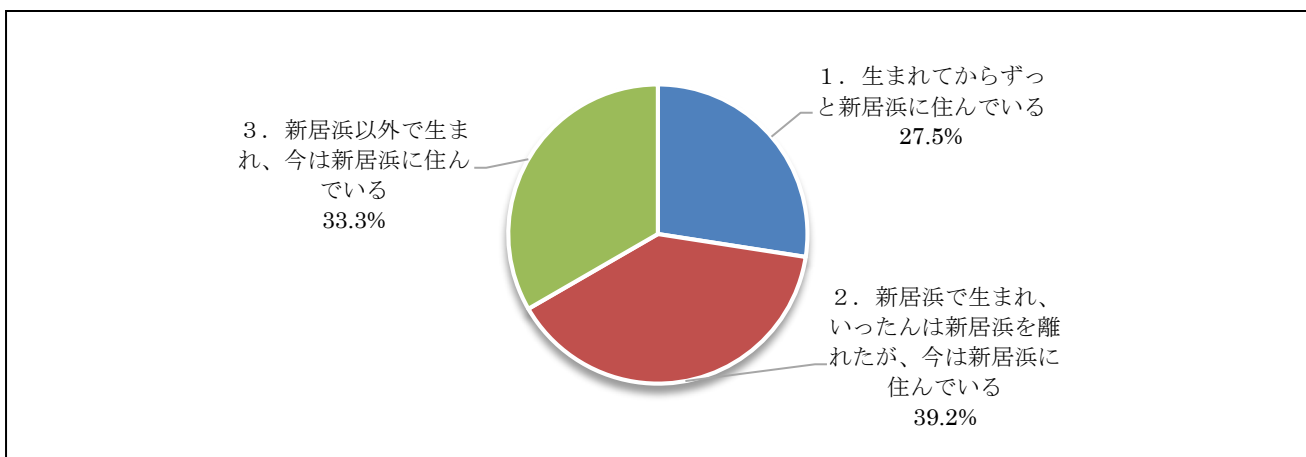
については、これらの取組に対する市民の皆さんの受け止め方やご意見等を把握し、Hello!NEW 新居浜を推進する上での参考にしたいと考えていますので、市政モニターの皆さんにアンケートへのご協力をお願いします。なお、このアンケートは市民の皆さんの認知度・浸透度を推し量る基礎資料とする目的で、平成28年度より継続的に実施しています。

（担当課：地方創生推進課）

（※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問2. あなたは新居浜にずっとお住まいですか？次のうち、あてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

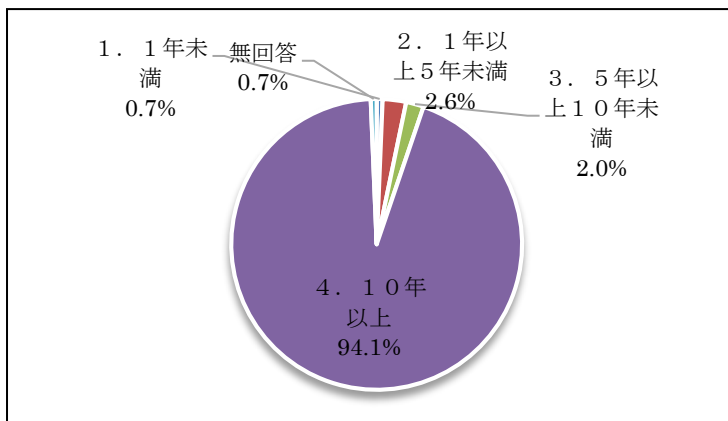
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	42人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	60人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	51人
合計	153人



「3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる」（33.3%）と答えた方の割合が、全体の3分の1を占めています。

問3. 新居浜市への居住期間（通算期間）で、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。
（1つ選択）

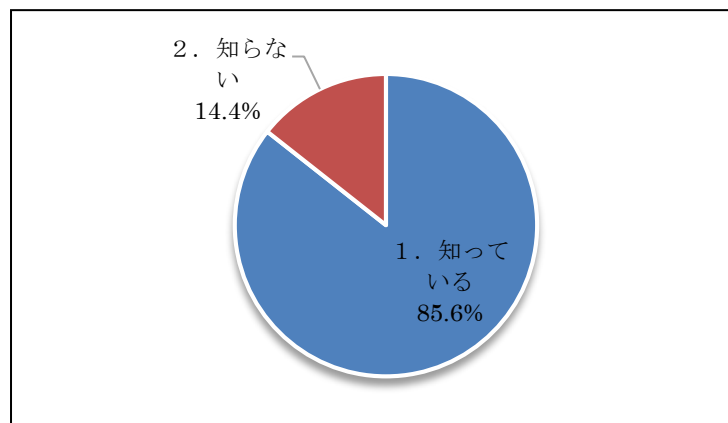
1. 1年未満	1人
2. 1年以上5年未満	4人
3. 5年以上10年未満	3人
4. 10年以上	144人
無回答	1人
合計	153人



「4. 10年以上」（94.1%）と答えた方が最も多く、全体の9割を超えています。

問4. 新居浜市のブランドスローガンである「Hello!NEW 新居浜」を知っていますか？（1つ選択）

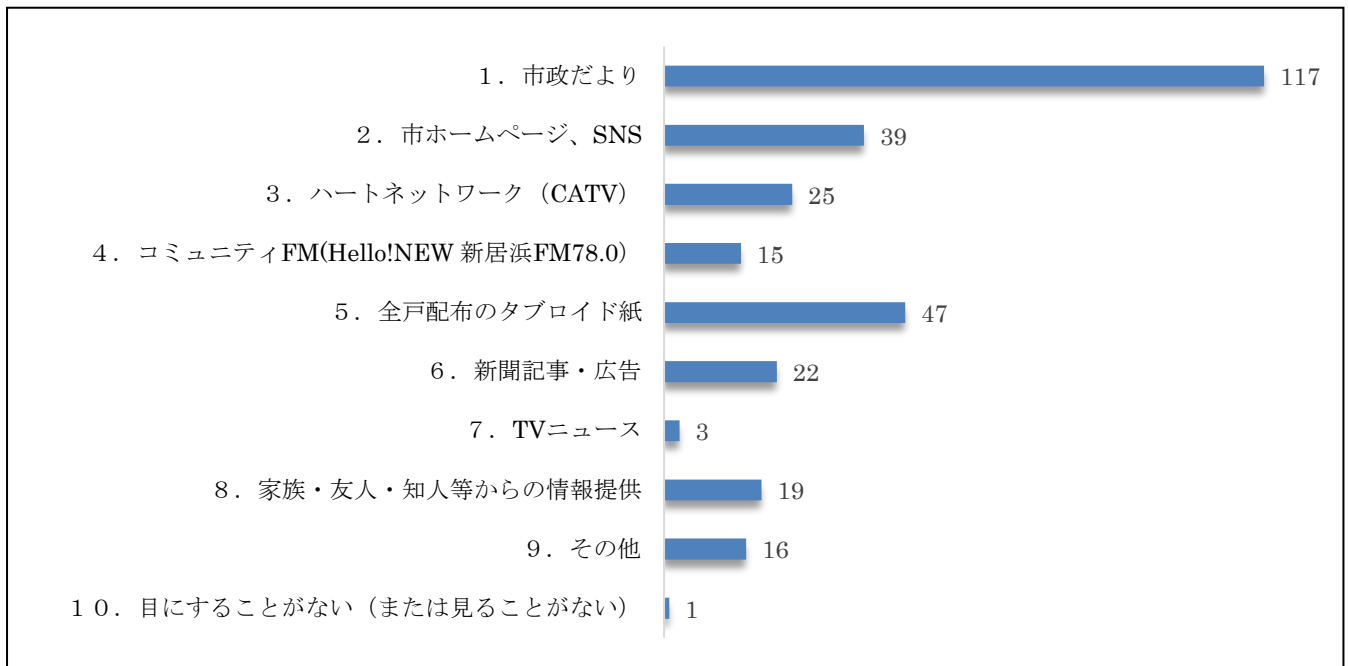
1. 知っている	131人
2. 知らない	22人
合計	153人



「1. 知っている」（85.6%）と答えた方が全体の8割を超えています。

問5. 問4で「1. 知っている」と答えた方にお伺いします。「Hello!NEW 新居浜」を目にする機会として、次のうちあてはまるものをお選びください。（複数選択）

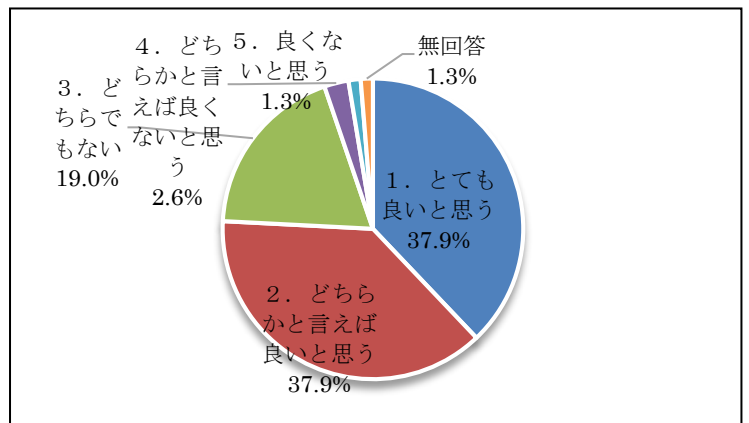
1. 市政だより	117人
2. 市ホームページ、SNS（フェイスブック、ブログ、インスタグラム等）	39人
3. ハートネットワーク（CATV）	25人
4. コミュニティFM（Hello!NEW 新居浜FM78.0）	15人
5. 全戸配布のタブロイド紙	47人
6. 新聞記事・広告	22人
7. TVニュース	3人
8. 家族・友人・知人等からの情報提供	19人
9. その他	16人
10. 目にするのがない（または見るのがない）	1人



「1. 市政だより」(117人)を「Hello!NEW 新居浜」を目にする機会として挙げる方が最も多く、次いで「5. 全戸配布のタブロイド紙」(47人)、「2. 市ホームページ、SNS (フェイスブック、ブログ、インスタグラム等)」(39人)の順となっています。

問6. 新居浜市が「Hello!NEW 新居浜」の活動に取り組むことについて、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. とても良いと思う	58人
2. どちらかと言えば良いと思う	58人
3. どちらでもない	29人
4. どちらかと言えば良くないと思う	4人
5. 良くないと思う	2人
無回答	2人
合計	153人

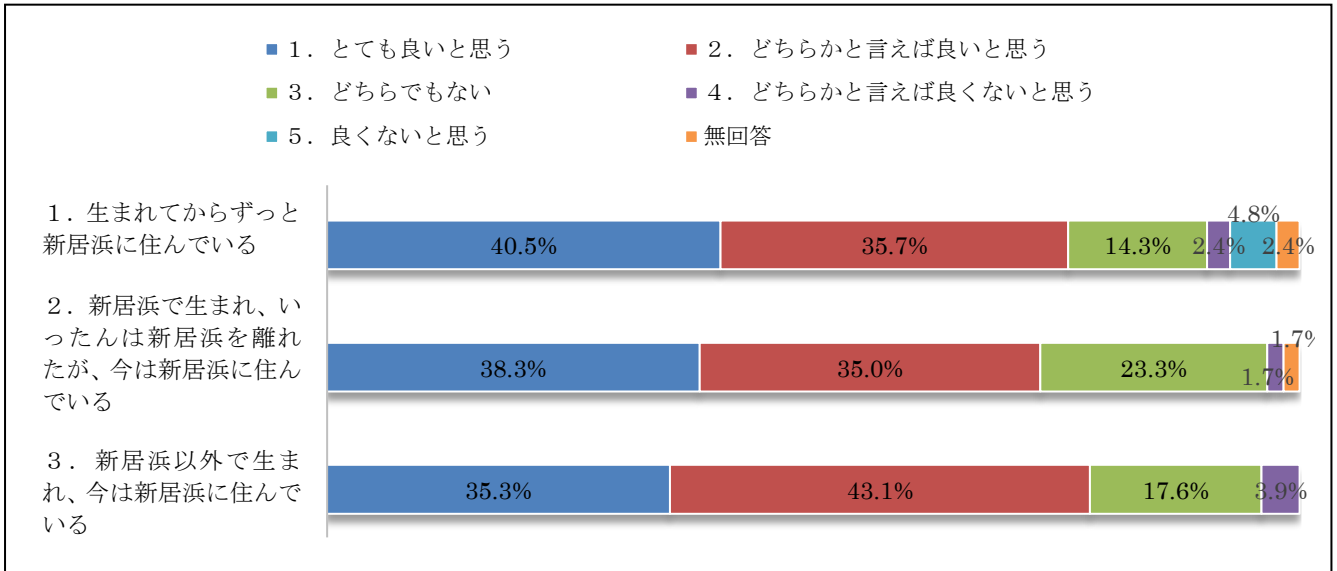


「1. とても良いと思う」(37.9%)、「2. どちらかと言えば良いと思う」(37.9%)と答えた方が多く、この2つを合わせると全体の7割以上となっています。

【クロス集計 (問2×問6)】

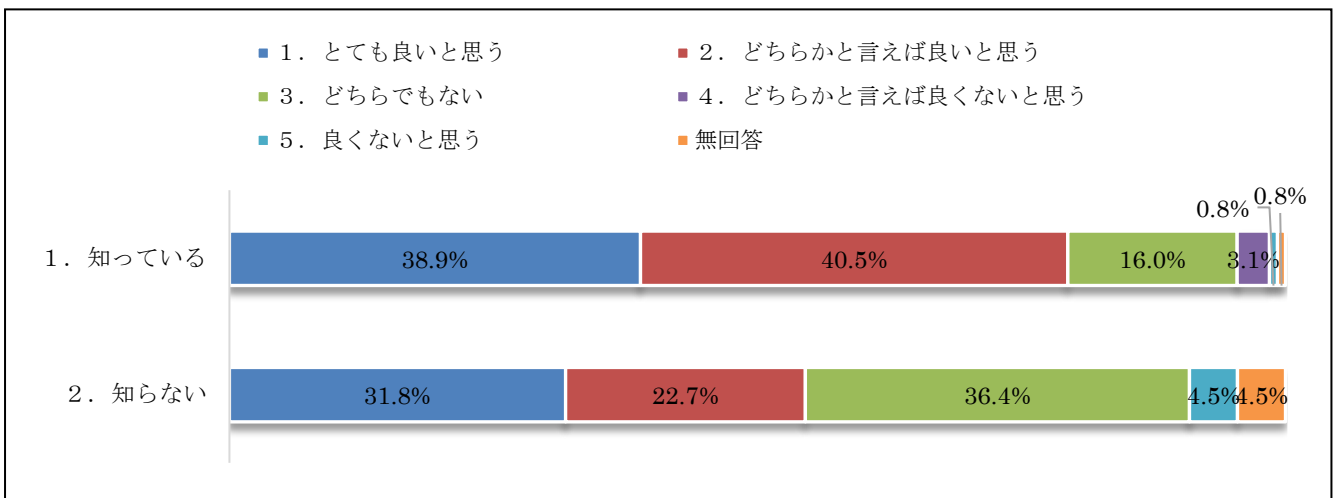
	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	17人	15人	6人	1人	2人	1人	42人

2. 新居浜で生まれ、 いったんは新居浜を離 れたが、今は新居浜に 住んでいる	23人	21人	14人	1人	0人	1人	60人
3. 新居浜以外で生ま れ、今は新居浜に住ん でいる	18人	22人	9人	2人	0人	0人	51人
合計	58人	58人	29人	4人	2人	2人	153人



【クロス集計 (問4×問6)】

	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	無回答	合計
1. 知っている	51人	53人	21人	4人	1人	1人	131人
2. 知らない	7人	5人	8人	0人	1人	1人	22人
合計	58人	58人	29人	4人	2人	2人	153人



問7. 問6で、その項目を選んだ理由を具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. とても良いと思う」「2. どちらかと言えば良いと思う」と答えた方の意見】

- ・市民と市が一緒になって新しい新居浜をはじめるとは、とても良いことだと思います。
- ・新居浜を良くしていこうという気持ちが素晴らしいと思います。
- ・統一スローガンのもと、意識が高まる。
- ・過去の良い事は残し、新しい事への挑戦は大切だと思う。
- ・新居浜の未来を大切にしているところがいいと思います。
- ・人口が減少しているので、それをストップさせるためにも新居浜市のいいところをアピールするのは良い。
- ・若い人にアピールできるように思う。安全で活気のあるまちをつくる力になると思う。
- ・市民参加型の活動であり、新居浜を身近に感じられる、良い活動だと思います。
- ・行政主導ではなく、市民と一緒に考えて、新しい新居浜をつくることは良いと思います。積極的に多くの方が参加できる取り組みが必要だと思います。
- ・子どもから大人まで参加できるので。
- ・活動の意識が素晴らしいものだと思うし、新居浜に来ると、この「Hello!NEW 新居浜」のマークを至るところで目にします。それだけ、真剣に取り組んでいる印象や拡大してほしいという意思が伝わってきます。
- ・いろいろな企画を考えて活動しているので、いいと思う。私も興味があるものには、どんどん参加して行こうと思います。
- ・まず参加することが一番と思える。事あるごとに情報を発信してほしいです。目を向けるようにしたい。
- ・子どもたちに新居浜の今、昔、これからのいい所を知ってもらいたい。
- ・新居浜市が全国的に知られるためには、このような地味な活動から始めるべきでしょう。
- ・何かアクションをしないと新居浜を知ってもらえない。私も新居浜に来るまでは新居浜を知らなかった。来てからも、何があるのかわからなかった。もっと皆が参加することで、自ら新居浜を知るきっかけになれば良いと思う。
- ・新しいことにチャレンジしてください。「やってみなはれ」という言葉もあります。
- ・「新しい新居浜」を押すのであれば、もっとそれに伴う新しいことをいっぱいしてほしい。
- ・何もしないよりは、インパクトがある。
- ・目標・目的を掲げることは大切です。
- ・一つの活動を通して、市が一体化できるから。
- ・まだ具体的内容はわからないが、みんなが考えることはいいことだと思う。
- ・取り組みの内容は理解するが、市民全体には周知できていない気がする。「Hello!New?市が何かやってる」位の反応が多い。目にはするけど、内容までは把握していない人が多い。
- ・目的は大変すばらしいのですが、今一つ市民に浸透していないように感じるから。広報の取り組みにひと工夫が必要だと思います。

【「3. どちらともいえない」と答えた方の意見】

- ・活動の主旨、目的がいまいちわからない。説明を読んでもピンとこない。
- ・行政が目標を掲げ、市民の考えを反映して進んで行くことは良いこと。具体性に欠けるところが難点。
- ・この活動で何がしたいのかが、見えてこない。
- ・どう取り組んでいるかよくわからない。その取り組みで新居浜をどうしたいのかも、よくわからない。広告を配布する予算がもったいない気がしてなりません。

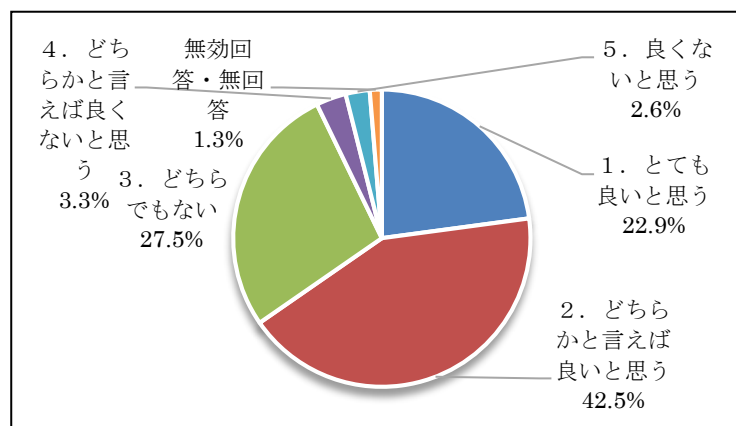
- ・「Hello!NEW」の意味がわからない人が多いと思う。日本語での説明が必要と思う。
- ・活動そのものについては詳しくないが、シンボルマークは知っている・見たことがあるという者が周りに多い。活動が市民の間に広まっているのは良いことだが、「内容がわからない」という者へのアピールや説明に、より重点を置くべきなのでは、と考える。

【「4. どちらかと言えば良くないと思う」「5. 良くないと思う」と答えた方の意見】

- ・具体性がない。イメージがわからない。
- ・水色のポスターや風船はよく目にするが、実際に何の活動をしているのか市民にわかりづらい。
- ・新しいものを追求する前に、現状の問題点をきちんと把握し、その解決に努めることが優先事項だと思う。
- ・明確な理念が薄い。

問8. 「Hello!NEW 新居浜」の活動を象徴する、水色の風船の形をしたシンボルマークについて、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. とても良いと思う	35人
2. どちらかと言えば良いと思う	65人
3. どちらでもない	42人
4. どちらかと言えば良くないと思う	5人
5. 良くないと思う	4人
無効回答・無回答	2人
合計	153人

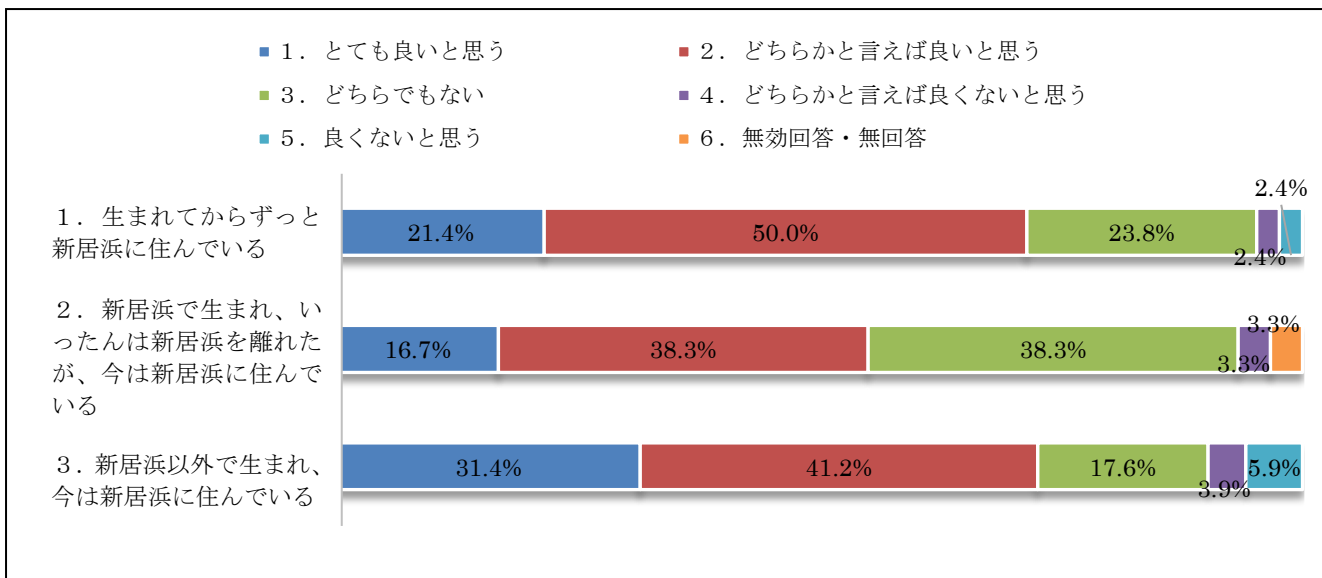


「2. どちらかと言えば良いと思う」(42.5%)と答えた方が最も多く、次いで、「3. どちらでもない」(27.5%)、「1. とてもよいと思う」(22.9%)の順となっています。

【クロス集計 (問2×問8)】

	1. とても良いと思う	2. どちらかと言えば良いと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言えば良くないと思う	5. 良くないと思う	無効回答・無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	9人	21人	10人	1人	1人	0人	42人

2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	10人	23人	23人	2人	0人	2人	60人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	16人	21人	9人	2人	3人	0人	51人
合計	35人	65人	42人	5人	4人	2人	153人



問9. 問8で、その項目を選んだ理由を具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【「1. とても良いと思う」「2. どちらかと言えば良いと思う」と答えた方の意見】

- ・清潔感があり、とても良いと思います。一度見たら忘れない。
- ・明るく好感が持てます。
- ・シンプルで、やさしい感じで良いと思います。
- ・すっきりとしたデザインであり、意味を聞けば愛着が持てるものである。
- ・色合いが美しい。デザインが人目を惹く。
- ・クールで現代的。
- ・希望で大きく膨らむイメージ。
- ・空を感じて良いのでは。
- ・新居浜をより良くしていこうとしていることが何となくわかるし、かわいらしくて馴染みやすいから。
- ・シンプルすぎて、逆になんだろう？と目にとまる。
- ・英語を使うことで若者や外国人にも伝わると思う。水色は新鮮な感じを受けます。風船のシンボルはポップアップのようで、目立ちます。
- ・すっきり爽やかですし、「ふくらんで、大きなチカラになっていく」という意味が込められているのも素晴らしいと思います。
- ・これ何のマーク？と考えるだけでも、意識改革につながるのでは。

- ・若い人にも、高齢者にもわかりやすい。マンネリ感がなく、意気込みが感じられる。
- ・コンセプトに合っていると思う。
- ・「Hello!NEW 新居浜」という言葉から、生まれ変わる、リニューアル、活動、躍動というイメージがあり、水色の風船はイメージ通りで適している。
- ・見たことのない図形が大変良いです。
- ・市民にも馴染んできたと思う。
- ・店舗や事業所がよく見えるところに貼っているのを見たり、うちわなどグッズがあったり、浸透しやすいと思う。
- ・これから始まるという感じが出ている。市民として期待したい。
- ・爽やかだから。ただ、すぐに新居浜市とは気づかない。
- ・かわいくて自分は好きだけど、何が新しく、何が今まで古かったのか伝わらない。
- ・水色の風船が未来に向かって上昇するイメージを、新居浜市に重ねて作成したのだと思うが、説明がなかったら風船の形がと理解しにくいから。
- ・良いデザインだと思うが、「Hello!NEW 新居浜」の中身をよく知らないの、中身にマッチしたデザインか、よくわからない。

【「3. どちらでもない」と答えた方の意見】

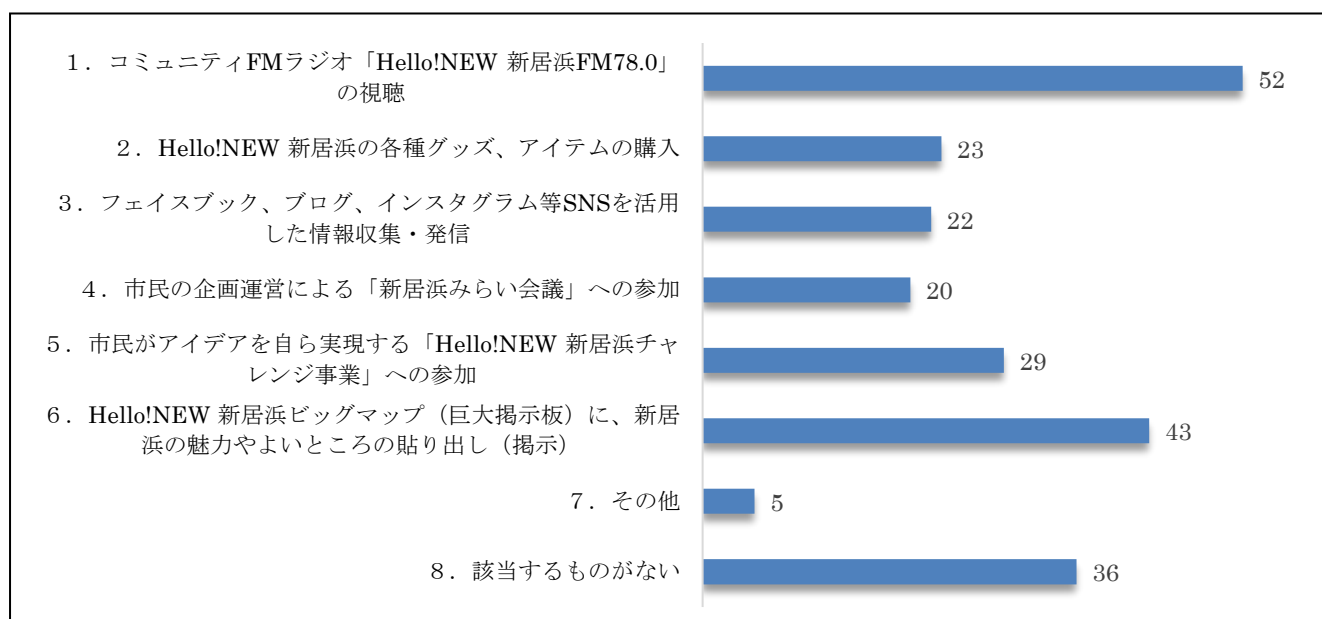
- ・あまり印象に残らない。
- ・何を表現したいのか理解できない。
- ・シンプルで色も綺麗で良いと思うが、何を指して、何がしたいのか全くわからない。説明を読んでも、それでどうなるのか？と思う。
- ・シンボルマークの意味を多くの方が理解していないと思います。PR不足だと思います。
- ・あまりインパクトを感じない。言われてみれば、「ああ、そうなんだ」の程度。
- ・もっとカラフルな方がいいと思う。
- ・工都新居浜のイメージと合わないような気がする。
- ・なぜ水色の風船なのか。新居浜市とリンクしない。
- ・次第に慣れてきているが、最初に見た時に惹かれるものがなかった。年齢のせい、英語ではなく日本語の方が馴染みやすかったのではないかと感じている。
- ・積極的に参加される方々の賛同を得たものであれば、とても良いと思う。シンボルマークを目にする度に、また頑張れると思います。
- ・「Hello!NEW」を始めてからと、始める前と、あまり変わった実感がない。そんなに力を入れなくてもいいような気がする。
- ・他にも似たようなのを見かけたので。
- ・よくわからない。悪くないと思いますが、子どもも大人も好んで受け止め、活用しているのでしょうか。

【「4. どちらかと言えば良くないと思う」「5. 良くないと思う」と答えた方の意見】

- ・インパクトが弱い。知らない人を見ると、何を意味するかよくわからない。
- ・目立たない。
- ・新居浜のイメージ色でないと思いました。
- ・「Hello!NEW」の意味がわからない。何を伝えたいのか？
- ・何を意味しているのか高齢者にはわからない。PRが不足と思われる。
- ・誰に対しての呼びかけかはっきりしない。

問10. 「Hello!NEW 新居浜」の活動の中で、あなたが興味ある、参加したい（または参加したことがある）ものについて、次のうちあてはまるものをお選びください。（複数選択）

1. コミュニティFMラジオ「Hello!NEW 新居浜FM78.0」の視聴	52人
2. Hello!NEW 新居浜の各種グッズ、アイテムの購入	23人
3. フェイスブック、ブログ、インスタグラム等SNSを活用した情報収集・発信	22人
4. 市民の企画運営による「新居浜みらい会議」への参加	20人
5. 市民がアイデアを自ら実現する「Hello!NEW 新居浜チャレンジ事業」への参加	29人
6. Hello!NEW 新居浜ビッグマップ（巨大掲示板）に、新居浜の魅力やよいところの貼り出し（掲示）	43人
7. その他	5人
8. 該当するものがない	36人



「1. コミュニティFMラジオ『Hello!NEW 新居浜FM78.0』の視聴」（52人）、「6. Hello!NEW 新居浜ビッグマップ（巨大掲示板）に、新居浜の魅力やよいところの貼り出し（掲示）」（43人）などが興味ある、参加したい（または参加したことがある）活動として多くの方に挙げられている一方、「8. 該当するものがない」（36人）という声も多くありました。

問11. 問10で「7. その他」を選んだ場合に、その具体的な内容をお書きください。（自由記入）

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・健康づくり、新居浜の歴史を求めてのウォーキングなど。
- ・太鼓祭りを健全な祭りに変えること。児童は子供太鼓台に触れ、親しみを持って、中高生は参加できない祭りには、親しみを感じないと思う。機動隊が待機して行うような祭りは、祭りとは思わない。
- ・グッズの販売などの仕事ならしてみたい。でもロゴマークの商品、売れるのでしょうか？
- ・インターネットやスマートフォン等を利用していないため、選択肢の内容が十分理解できていない。

問12. 「Hello!NEW 新居浜」の活動を進めていく上で、あなたが期待することや対応してもらいたい内容等がありましたら、具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・新居浜の良いところをどんどん発信して、まだスポットが当たっていないところも見つけて行ってほしい。
- ・老若男女、皆が自然に集まれる場所がほしいです。
- ・松山や今治、南予のような、「新居浜はこれ」という大きなイメージの定着化。
- ・まだ始まったばかりなので、試行錯誤を繰り返して新しい新居浜を創出してほしい。
- ・「新居浜FM78.0」は、パーソナリティや番組をもっと充実させてほしい。
- ・新居浜FMの番組紹介および番組表を提供してほしい。
- ・開催された会議、事業はどうだったのか広報してほしい。
- ・ここが良くなった、という情報を出してほしい。
- ・フェイスブック、ブログ、インスタグラムなどはちょっと苦手なので、高齢者にもわかりやすい案内をお願いします。
- ・色々な世代、性別、職業の方の意見を取り入れてほしい。
- ・理想だけでなく現実的に良い方向に向かうよう期待します。一部の人たちで動くのではなく末端の人にまで活動に参加、興味を持てるよう動いてほしい。
- ・参加しやすい活動内容にする。
- ・子どもたちが参加しやすいイベントを企画してほしい。
- ・講演会はいつも土曜日なので、日曜日にもあったら良いと思う。行きたくても行けないことがよくある。新居浜出身の小説家や漫画家、タレント、ミュージシャンなどの講演会があれば良いと思う。
- ・市内の施設を回るイベント、女性の意見を聞くイベント、マラソンなど、取り組みが多面で、頑張ってくれているという印象です。あかがねマラソンは今回、インパクトの強いポスターでとても目を惹きました。マラソンは市外の人にも参加してもらえるので、続けてもらいたいです。
- ・市政だよりの別冊として、新居浜のおいしい所や楽しい所など、みんなの声から作った、それを読んで行きたくなるような冊子をつくる。実際、写真等が多いタウン誌は何度も読みますが、市政だよりはそれほど深く読みません。
- ・新居浜市のソウルフードのPR。新居浜市のマスコットキャラクター。
- ・大学誘致、企業誘致、流行への対応、遊園地や水族館、動物園のような施設など、ないものが多いので一つひとつ増やしてほしい。
- ・子育てに関する企画。
- ・共働き家庭が増え、子どもが危険にさらされ、予想もしない事故や事件に巻き込まれている。子どもを安全に守る場所がほしい。家族の負担が大きいので、根本的に三世代の交流の場が多くあるといいと思われる。
- ・「安全、安心な新居浜」を実感できる、防災への先進的な取り組みを期待します。
- ・高齢者対応の活動もお願いします。時間が多くありますから。料金は安くしてください。
- ・自治会加入促進等による、地域の活性化。
- ・別子山や大島を積極的に活性化し、人を集める。
- ・別子銅山を観光のメインにして、道後温泉までの観光ルートにすればもっといいと思う。
- ・ユニフォームでロゴマークを出してください。
- ・よくわからない取り組みをする前に、市役所職員がもっと挨拶や愛想のあるきちんとした対応をできるようにしてもらいたい。

問13. 「Hello!NEW 新居浜」の活動全般に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・活動やロゴマークの印象は良いが、具体性が伝わっていないと思う。自分が他市他県の人に「Hello!NEW 新居浜」とは何か、と聞かれたら自信を持って答えられない。
- ・今ひとつ取り組みがわかりづらく、理解しにくく、活動がどのようになされているかわからないです。
- ・特に目立った活動が感じられないので、もっと積極的にアピールしたらどうか？
- ・さらなる認知度を図ること。
- ・必要性をPRしてください。
- ・活動項目が多くあるのですね。活動の主体、手足で動く部分をもっと見えるようにした方が良いのでは。市民がどのように参画するかがよく見えない。
- ・活動している人たちは大変だと思いますが、もっと誰もが参加できるようにしてほしい。
- ・活動している人が少なすぎて、一部の人の意見しか取り入れられない活動になってしまっているように感じます。ただ、もっと多くの人に参加してもらおう程の魅力がない活動が多い。ロゴグッズの売り上げは多いですか？グッズの対象者は誰ですか？観光客対象なら、あかがねミュージアムだけでなく、駅やマイントピア別子の方が目にとまる。
- ・投げ出さずに地道に活動してください。待っていないで、出て行って聞いてください。
- ・いまだ効果は出ていないと思うが、急がず継続的に実施してほしい。
- ・各自治会を中心として活動していくのが良いと思います。
- ・新居浜が良くなることはとても素晴らしいことだと思いますが、それによって置いてきぼりになる人たちをつくらないように願います。
- ・補足資料の活動内容を見ても大雑把すぎて、全く何をしているのかがわからない。市役所で何かをやらなくてはいけなから、それらしいことを馴れ合いでやっているようにしか見えない。「市の魅力を市内外へ情報発信し、移住・定住の促進や交流人口の拡大へつなげる」結局、ここへ帰結しないといけないはずなのに、どうやってここへ繋がるのか、そのビジョンが見えない。市内の仲間内だけでなく、県外で、県外の人たちと会議した方が、現実が見えるのでは？
- ・高齢者に優しいまちづくりを。外部からの人口流入を呼ぶ企画を。そして市内交通網の革新的な企画を。市民に求めるばかりでなく、市政側からの積極的な施策を期待している。
- ・まだまだ知らない催しや新居浜に昔からある行事、塩田の昔を語る催しや、塩作りの文化等をもっと市民や学校に広めてほしい。市政だよりも、新居浜市がHello!NEWで取り組むことを、どんどん発信してほしい。
- ・別子山から新居浜市内に行くには道路事情が悪い。道が狭く、カーブが急。せめて4m位の道幅が望ましい。
- ・新居浜を知らない人にお勧めできるお土産や食べ物、インスタ映えする観光スポットなどの、地元民しか、あるいは地元民も知らない情報の発信を。
- ・各活動団体の発表の場、校区文化祭や伝統芸能発表会などをいつもよりバックアップして盛大なものにできないでしょうか。
- ・平成29年から始まったとのことで、ロゴマーク等は見かけますが、具体的な内容はあまり周知していないと思います。今後、コミュニティFMラジオやロゴグッズの知名度アップで関心が高まると思います。
- ・策定からの期間も短いので、これからの活動方法を十分検討して、多くの市民が参加できるよう期待しています。
- ・今まで市政が構築してきたシステムを確実に運用しながら、新たな挑戦をしてほしい。

<まとめ>

平成28年度に策定した「新居浜市シティブランド戦略」に基づく各種取組に対する市民の皆さんへの浸透度や理解度等に係る経年変化を把握する必要があるため、昨年度に引き続き市政モニターアンケート調査を行いました。

本年度は取組の2年目に当たり、市政モニター回答者の属性を見ると、昨年度と大きな変化はなく、60歳代以上の方の割合が49.7%とほぼ半数を占めるとともに、当アンケートへの回答率は85.5%と高い数値となりました。

また、回答内容のうち、ブランドスローガンである「Hello!NEW 新居浜」を知っていると答えた方は85.6%と、昨年度と単純比較すると33.4ポイントも上昇している一方で、取組に対して「とても良いと思う」「どちらかと言えば良いと思う」を合わせた回答率は、75.8%と昨年度の数値からは11.2ポイント下がる結果でした。このことは、「どちらでもない」の回答率が10.9ポイント、「良くないと思う」「どちらかと言えば良くないと思う」の回答率が2.7ポイント、それぞれ昨年度の数値を上回る結果であったことの裏返しになります。

これらの否定的な意見内容としては、「活動の趣旨・目的がいまいちわからない」「具体性に欠けている」「イメージがわからない」「取組によって、新居浜をどうしたいのかがわからない」といった指摘がありました。このため、本年度に進めているHello!NEW 新居浜サイトの改修に合わせて、より市民の皆さんに見やすい・伝わりやすい内容にあらためるとともに、各種情報紙や市政だより等の媒体を通して、引き続き積極的な情報発信を積み重ねながら、市民の皆さんの共感と理解の輪を広げていきたいと考えています。

また、シンボルマークについては、「とても良い」「どちらかと言えば良いと思う」を合わせた回答率が65.4%であり、昨年度と比較すると12.0ポイント上昇しており、「清潔感がある」「シンプルでやさしい」「クールで現代的」といった意見がある一方、「工都新居浜のイメージと合わない」「目立たない」「インパクトが弱い」といった意見がありました。

今後の活動に期待することとして回答がありました「老若男女が自然に集まれる場所」「子どもたちが参加しやすいイベント」「多くの人に参加してもらえる魅力ある活動」といった内容等を踏まえ、今後とも市民の皆さんと一緒に新しい取組へのチャレンジを続けることにより、新居浜に対する市民の愛着と誇りを高めることにつなげてまいります。

(担当課：地方創生推進課)



テーマ⑥ ペット動物について

【調査趣旨】

新居浜市では、主に市政だよりで年に3、4回程度ペットの飼い方に関する記事を掲載し、適正な飼い方についての啓発を行っております。

ペットを飼っている方の多くは、ペットに対して愛情と責任を持ち、周囲に迷惑をかけない適正な飼育に努められているところですが、残念ながら、中には周囲への無配慮や知識不足によって、ふん尿の放置や飼い主のいない猫の増加などの相談が市に寄せられる事例も発生しています。

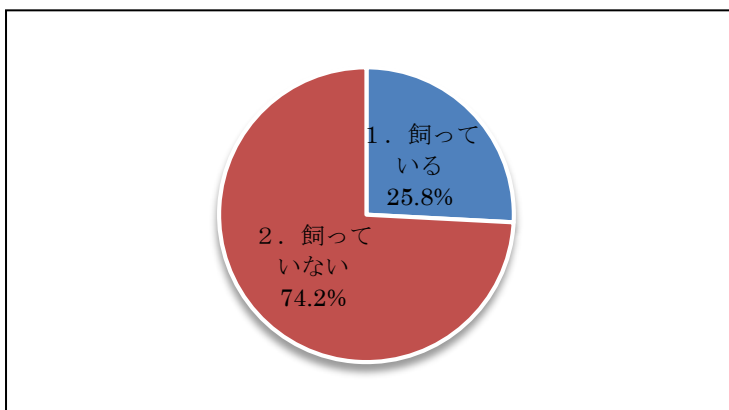
今回のアンケートでは、市政モニターの皆さんのペットに対する意識や飼い方についての考え等をお聞きし、今後の啓発活動の参考にさせていただきたいと考えています

(担当課：環境保全課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたの家では、ペットを飼っていますか。(1つ選択)

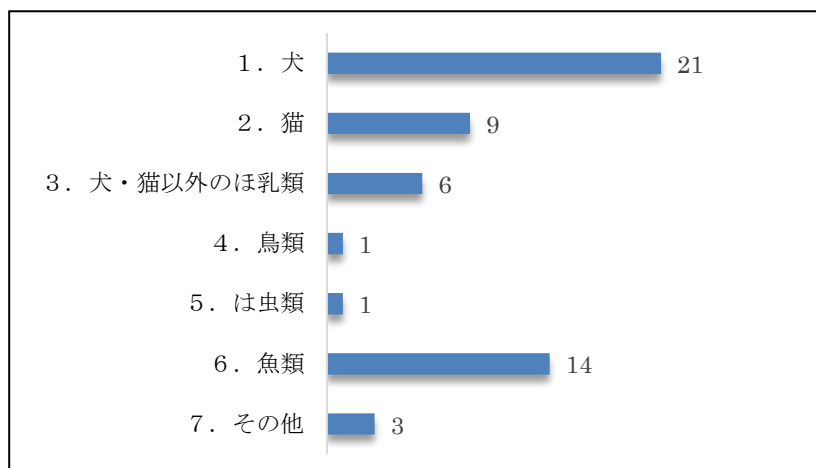
1. 飼っている	39人
2. 飼っていない	112人
合計	151人



ペットを「1. 飼っている」(25.8%)と答えた方は、全体の約4分の1となっています。

問3. 問2で「1. 飼っている」と答えた方にお伺いします。飼っているペットの種類は何ですか。(複数選択)

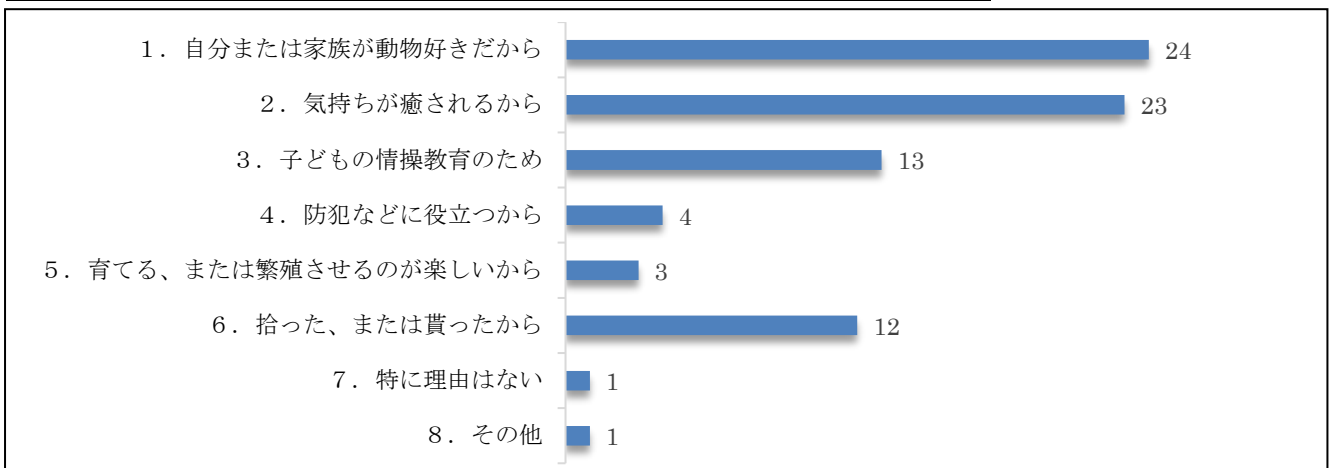
1. 犬	21人
2. 猫	9人
3. 犬・猫以外のほ乳類	6人
4. 鳥類	1人
5. は虫類	1人
6. 魚類	14人
7. その他	3人



飼っているペットの種類については、「1. 犬」(21人)、「6. 魚類」(14人)、「2. 猫」(9人)などが多くなっています。

問4. 問2で「1. 飼っている」と答えた方にお伺いします。ペットを飼っている理由を教えてください。(複数選択)

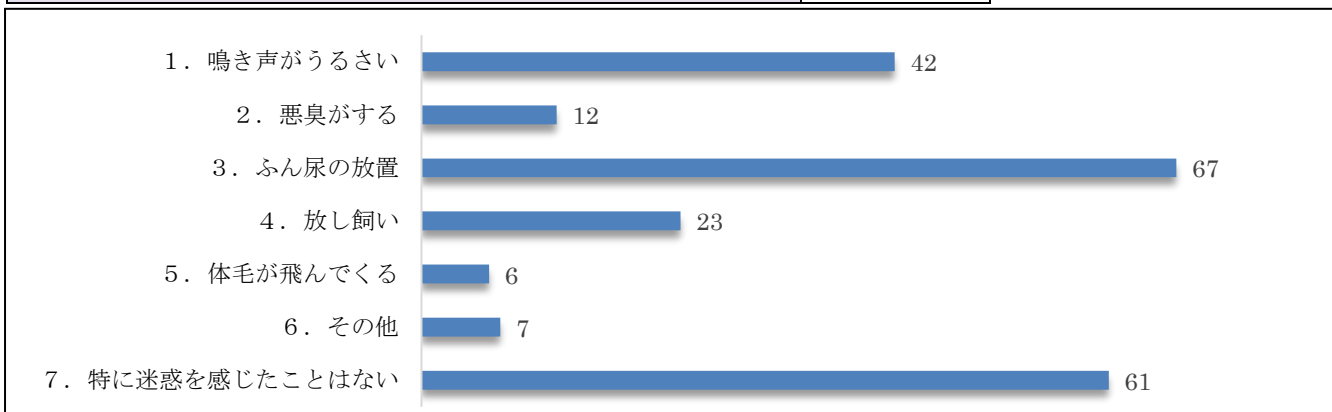
1. 自分または家族が動物好きだから	24人
2. 気持ちが癒されるから	23人
3. 子どもの情操教育のため	13人
4. 防犯などに役立つから	4人
5. 育てる、または繁殖させるのが楽しいから	3人
6. 拾った、または貰ったから	12人
7. 特に理由はない	1人
8. その他	1人



ペットを飼う理由として、「1. 自分または家族が動物好きだから」(24人)、「2. 気持ちが癒されるから」(23人)などが多く挙げられています。

問5. あなたは近所などで飼われている犬について、何か迷惑を感じたことがありますか。(複数選択)

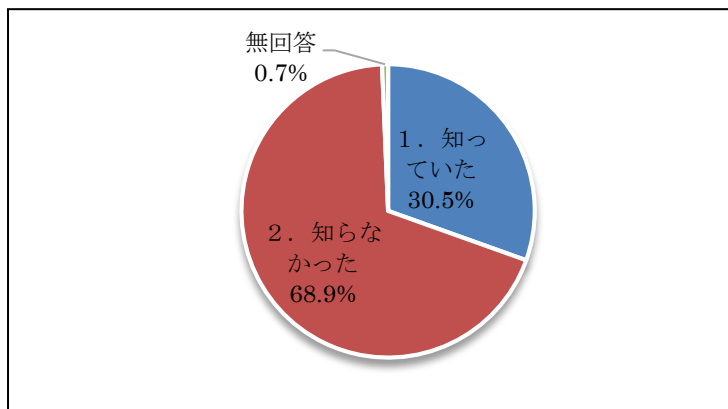
1. 鳴き声がうるさい	42人
2. 悪臭がする	12人
3. ふん尿の放置	67人
4. 放し飼い	23人
5. 体毛が飛んでくる	6人
6. その他	7人
7. 特に迷惑を感じたことはない	61人



「3. ふん尿の放置」(67人)、「1. 鳴き声がうるさい」(42人)などが、近所などで飼われている犬について迷惑を感じたこととして、多く挙げられています。一方、「7. 特に迷惑を感じたことはない」(61人)という声も多くありました。

問6. 犬のふん放置でお困りの方に対して、新居浜市では「ふん放置お断り」啓発看板を希望者に無償で配布しています。このことをご存知でしたか。(1つ選択)

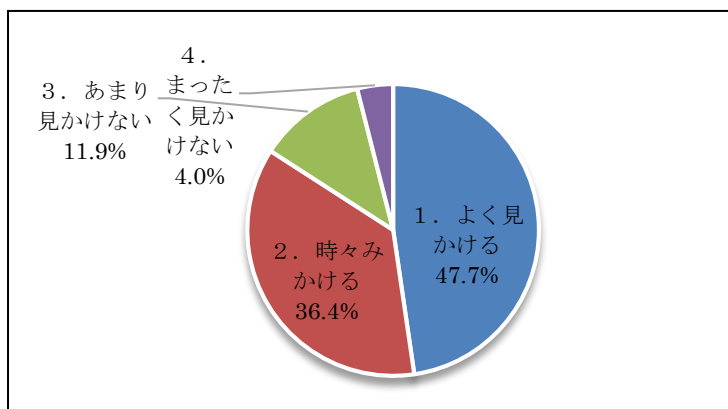
1. 知っていた	46人
2. 知らなかった	104人
無回答	1人
合計	151人



「2. 知らなかった」(68.9%)と答えた方が、全体の6割以上となっています。

問7. 自宅周辺の屋外で猫を見かけることがありますか。(1つ選択)

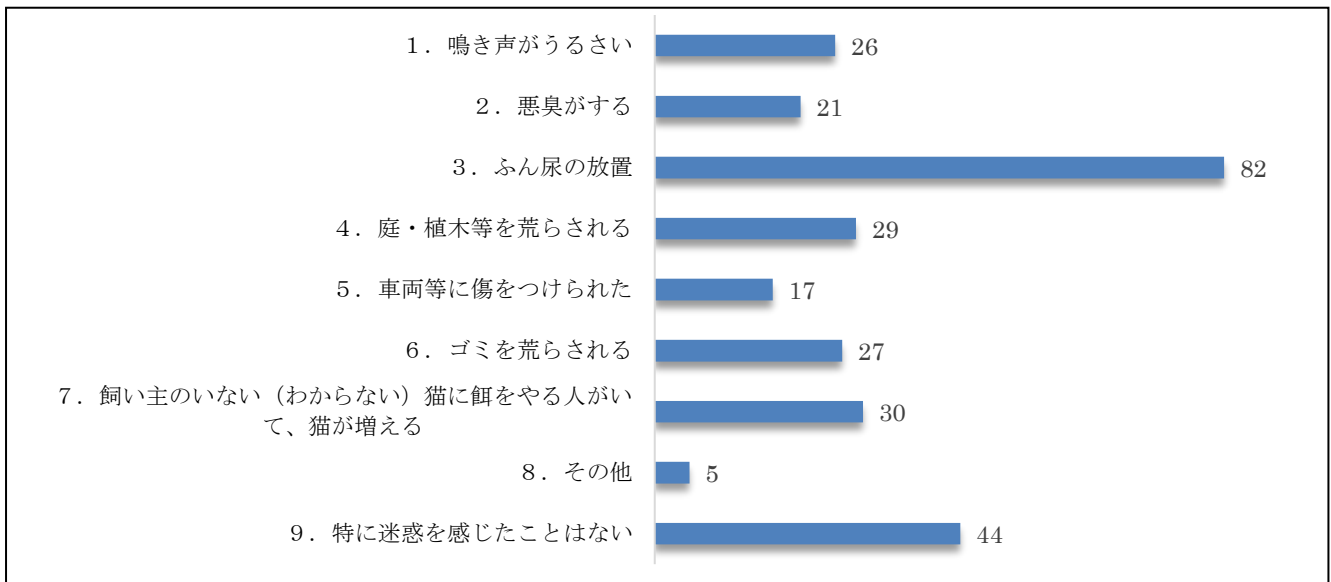
1. よく見かける	72人
2. 時々見かける	55人
3. あまり見かけない	18人
4. まったく見かけない	6人
合計	151人



「1. よく見かける」(47.7%)と答えた方が最も多く、「2. 時々見かける」(36.4%)を合わせると、全体の8割以上の方が自宅周辺の屋外で猫を見かけると答えています。

問8. あなたは屋外にいる猫について、何か迷惑を感じたことはありますか。(複数選択)

1. 鳴き声がうるさい	26人
2. 悪臭がする	21人
3. ふん尿の放置	82人
4. 庭・植木等を荒らされる	29人
5. 車両等に傷をつけられた	17人
6. ゴミを荒らされる	27人
7. 飼い主のいない(わからない)猫に餌をやる人がいて、猫が増える	30人
8. その他	5人
9. 特に迷惑を感じたことはない	44人



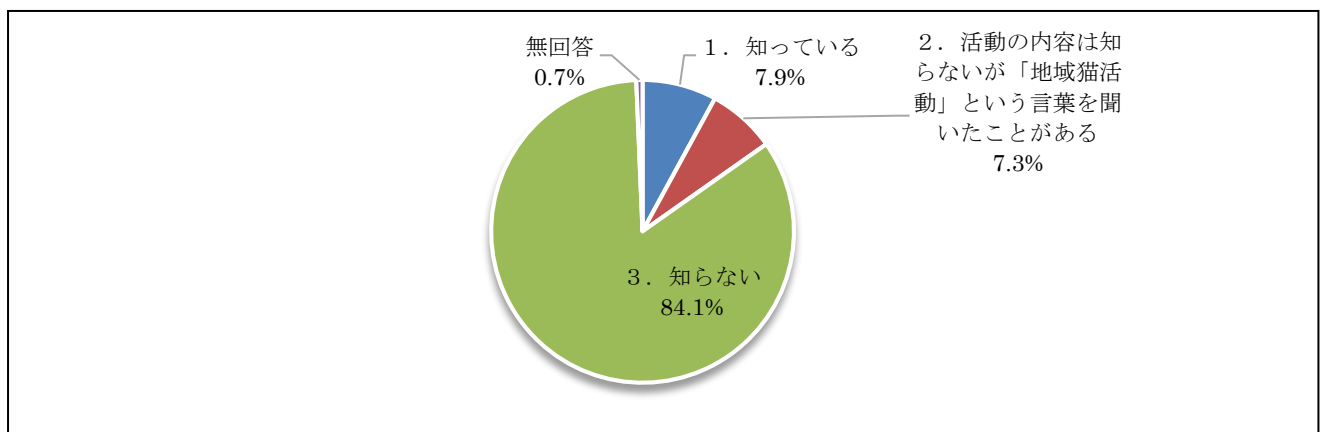
「1. 糞尿の放置」(82人)、「7. 飼い主のいない (わからない) 猫に餌をやる人がいて、猫が増える」(30人)、「4. 庭・植木等を荒らされる」(29人)などが、屋外にいる猫について迷惑を感じたこととして、多く挙げられています。一方、「9. 特に迷惑を感じたことはない」(44人)という声も多くありました。

問9. あなたは「※地域猫活動」のことをご存知ですか。(1つ選択)

【※地域猫活動】

飼い主のいない猫(明確な所有者がおらず、地域住民による管理もされていない猫)によるトラブルを解決するための試みで、飼い主のいない猫を地域の方々の合意のもとに、地域が猫の飼い主となり、頭数の把握・避妊去勢手術を施した上で、決められた場所・時間での餌やりや、糞尿の後始末などを行い、一代限りの生を全うさせる活動

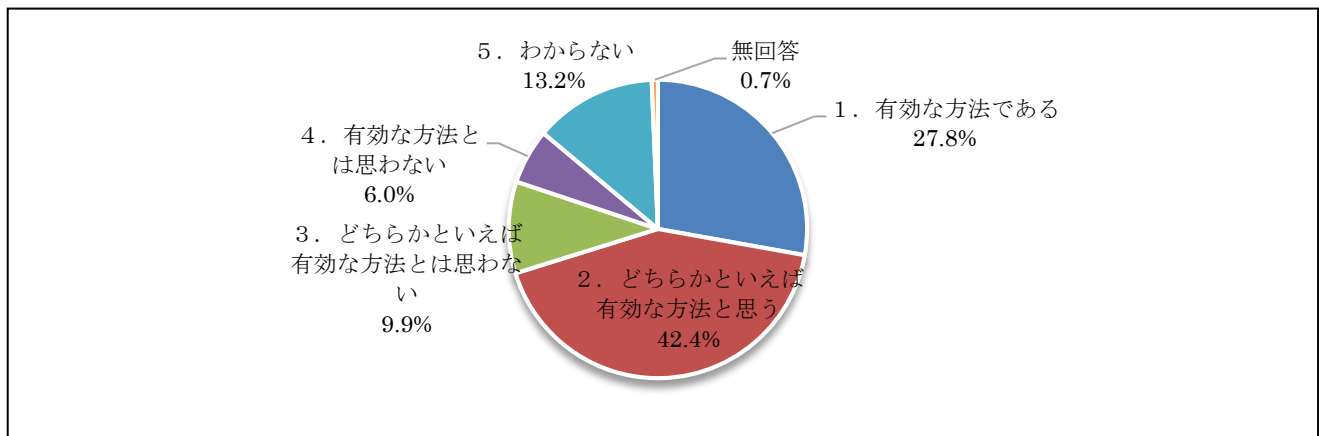
1. 知っている	12人
2. 活動の内容は知らないが、「地域猫活動」という言葉を聞いたことがある	11人
3. 知らない	127人
無回答	1人
合計	151人



地域猫活動を「3. 知らない」(84.1%)と答えた方が、全体の8割以上を占めています。

問10. 飼い主のいない猫の数を増やさない・地域のトラブル解決の方法として、上記の「地域猫活動」についてどのようにお考えになりますか。(1つ選択)

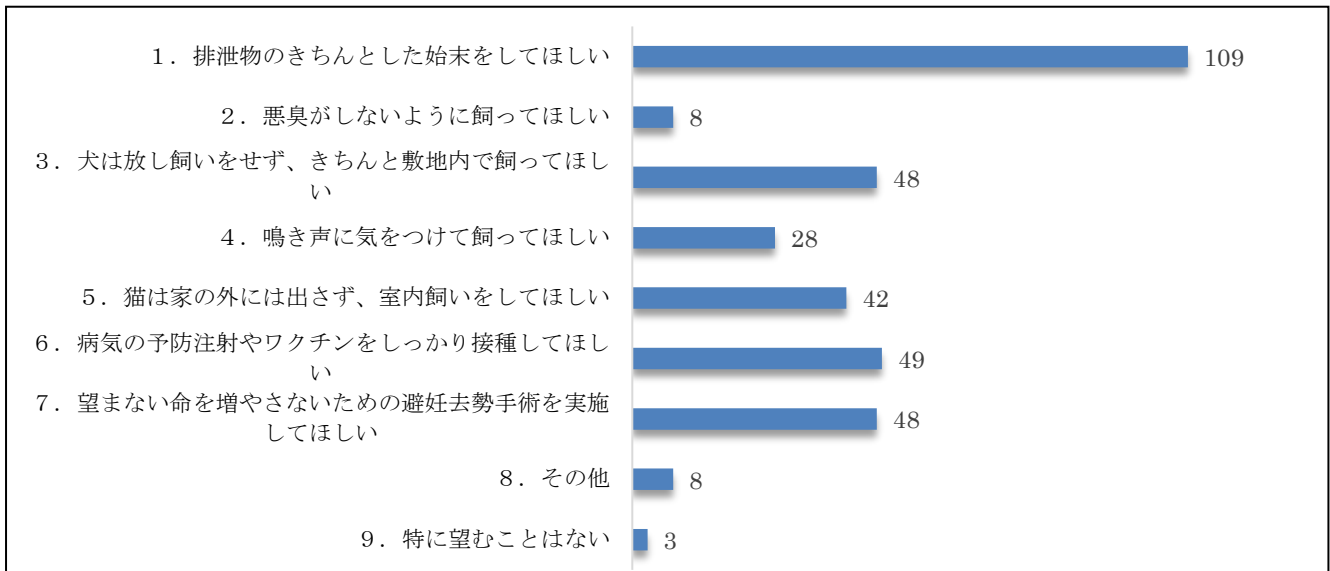
1. 有効な方法である	42 人
2. どちらかといえば有効な方法と思う	64 人
3. どちらかといえば有効な方法とは思わない	15 人
4. 有効な方法とは思わない	9 人
5. わからない	20 人
無回答	1 人
合計	151 人



「2. どちらかといえば有効な方法と思う」(42.4%)と答えた方が最も多く、次いで「1. 有効な方法である」(27.8%)、「5. わからない」(13.2%)の順となっています。

問11. 犬や猫などのペットを飼っている方に対し、あなたが望むことはなんですか。最も望むことを2つまでお選びください。(2つまで選択)

1. 排泄物のきちんとした始末をしてほしい	109 人
2. 悪臭がしないように飼ってほしい	8 人
3. 犬は放し飼いをせず、きちんと敷地内で飼ってほしい	48 人
4. 鳴き声に気をつけて飼ってほしい	28 人
5. 猫は家の外には出さず、室内飼いをしてほしい	42 人
6. 病気の予防注射やワクチンをしっかり接種してほしい	49 人
7. 臨まない命を増やさないための避妊去勢手術を実施してほしい	48 人
8. その他	8 人
9. 特に望むことはない	3 人



「1. 排泄物のきちんとした始末をしてほしい」(109人)、「6. 病気の予防接種やワクチンをしっかり接種してほしい」(49人)、「3. 犬は放し飼いをせず、きちんと敷地内で飼ってほしい」(48人)、「7. 望まない命を増やさないための避妊去勢手術を実施してほしい」(48人)などが、犬や猫などのペットを飼っている人に望むこととして多く挙げられています。

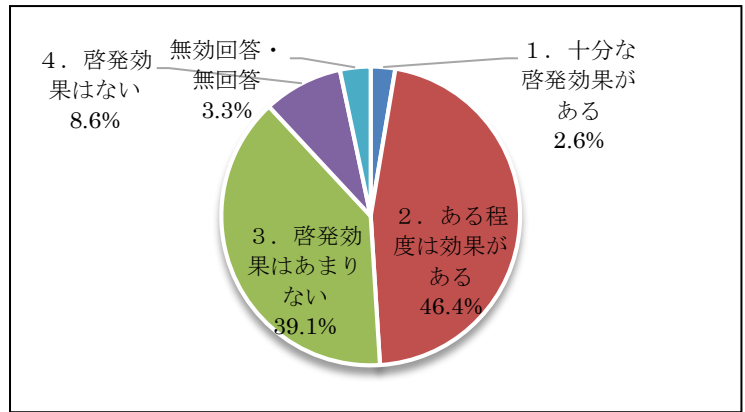
問12. 問11で「8. その他」と答えた方にお伺いします。犬や猫などのペットを飼っている方に対し、あなたが望むことを記入してください。(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・犬や猫を飼う意味や本当にペットのためになる飼い方を理解した上で、飼ってほしい。
- ・最期まで大切に育ててほしい。
- ・責任を持って最後まで飼ってください。
- ・とにかくきちんと責任を持って、命がなくなるまで大切に育ててほしい。
- ・犬や猫が死ぬまできちんと飼ってください。それが不可能になったら責任を持って次の手立てをとってください。
- ・世の中の人々は皆、犬や猫などのペットが好きだと思ってほしくない。アレルギーの人もいるのだから。
- ・道を歩いていて、ふんが放置されていると大変不快だし、散歩をしているのに処理用の袋を持っていない人がいて、ペットを飼う資格がないのではないかと憤りを感じます。自転車で散歩をさせているのも、横を車で通過する際、怖いなどいつも思います。また、仕方ないのかもしれませんが、朝のラッシュ時の犬の散歩は、車が不必要な減速をして渋滞の原因になったこともあるので、やめてほしいと思いました。
- ・犬は管理をしないと、ふんを放置するし、人を噛むし吠えるし、迷惑な存在だが、猫はふんの後始末をするし、人を噛んだりしない。猫は放っておけばいいのでは。

問13. 新居浜市では、主に市政だより等で適正飼育等の啓発を行っていますが、その啓発効果についてどう感じていますか。(1つ選択)

1. 十分な啓発効果がある	4人
2. ある程度は効果がある	70人
3. 啓発効果はあまりない	59人
4. 啓発効果はない	13人
無効回答・無回答	5人
合計	151人



「2. ある程度は効果がある」(46.4%)と答えた方が最も多く、次いで「3. 啓発効果はあまりない」(39.1%)、「4. 啓発効果はない」(8.6%)の順となっています

問14. ペットの適正飼育等の啓発に有効と思われる方策があれば、ご自由に記入してください。 (自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・同じような文言、イラストではなかなか目に留まりにくい。掲載回数を減らしてでも、市民から募集するなどして、工夫したものを掲載すべきと思う。
- ・1ヶ月だけでもいいので、特集を組んで目立つように啓発していただきたい。また、動物病院や公園など、ペットを飼っている方が嫌でも目に付くところに、ポスター等を貼ってもらいたい。
- ・市政だよりだけでなく、他の方法でも情報発信すべき。市政だよりを読んでいる市民もいると思うので。
- ・市政だよりを読まない人が多数いると思われるので、月に1～3回放送してほしい。
- ・市政だより啓発を飼育者が見ているか？気になります。個人の考え、モラルの問題なので、難しいと思います。予防接種や治療を行う動物病院にチラシなどを置くくらいでしょうか。
- ・ペット用品の販売店でのチラシ配布。
- ・紙媒体でなく、オンラインでの発信。参加型のイベントの実施。
- ・タウンページ等でも不定期で情報を流してはいかがでしょうか。
- ・キャンペーンポスターや動画の作成。ネット等による配信。
- ・市全体に啓発するのではなく、マナーを守らない飼い主の情報を積極的に収集し、その飼い主に対してピンポイントで啓発していく。
- ・適正に飼育されていない方には、市から直接指導をお願いしたいです。
- ・苦情が出ている家への訪問や注意を行う。
- ・定期的にパトロールを行い、マナー違反者には直接注意する。
- ・ペットトラブルに関する匿名での通報。
- ・問題のある方へ自治会からの注意喚起を行う。
- ・自治会単位で、ペット飼育の管理指導者を市が選任する。
- ・自治会や校区懇談会でも説明してほしい。
- ・個々の協調性、モラルの問題であり、特効薬はない。根気よくマナーのすり合わせを行う。
- ・市政だより、及び地域での適正飼育等に関する啓発を、根気よくすることだと思います。
- ・有効手段は、飼い主が周囲に配慮しマナーを守る以外にはないと思います。

- ・愛情を持って飼育すること、全て飼い主責任であることを自覚させる。近所に迷惑をかけない・ふん尿の放置をしない・病気の予防注射やワクチン接種を励行する等を内容としたシールを、ペットを飼っている家庭に貼るように義務付け、第三者全員が監視役となる。
- ・ふん尿の放置、放し飼いによる遠吠えなどは直接、飼い主に注意をすれば済むことと思っている。日頃の近所とのコミュニケーションが大事である。
- ・近所の猫のふん被害で、超音波などの猫対策をしている。飼い主に現状を知ってもらいたいが、なかなか難しい。わかりやすいチラシやホームページなどで啓発を行っていくしかないと思う。
- ・猫のふんが玄関横にあることがある。臭いし、なぜ飼ってもいない猫のふんの始末をしないといけないのか、イライラがおさまらない。市販の猫除けグッズを買ったが、なぜこちらがお金を使わないといけないのか腹立たしい。補助金や市で負担してほしい。それが駄目なら、猫飼いの人が全員で負担してほしい。
- ・マナーの質を高める。規則、ルールの徹底を図る。
- ・最終的には飼い主のモラルであるが、条例の制定も必要かと思う。
- ・排泄物を始末しないことやワクチンの不接種、リードを離すなどの行為に対する条例の整備。
- ・近所の猫が庭でふんをして困っています。どこの飼い猫かわかる場合、罰金制にしたり、市の職員から注意を行ってほしい。もし家の敷地に入ってきてふんをされた場合、その住民の敷地内なので「捕まえる」などしてもいいようにしてほしい。
- ・犬、猫の登録制。
- ・わからない。飼う時に登録をする、そして飼う時の心得を学べる講習会をするなど？費用や手間がかかりますね。
- ・ペットショップでの購入時に指導を徹底してほしい。飼い主を対象としたマナーや育て方教室の開催。
- ・ペットを飼う時に、注意事項等を書いた誓約書を書いてもらえばいいのでは。
- ・不幸な犬猫を増やさないために、避妊は必ずするよう登録時にチラシを渡す。そしてもっと地域猫活動にも取り組んでほしいです。尾道市では地域猫をアピールして観光の目玉にして、一石二鳥で効果をあげています。新居浜市は殺処分のランキングもワースト3ですし、こういうことも市政だよりで取り上げてほしい。
- ・地域猫の避妊去勢活動を市が援助して、大々的に告知をして一斉に行うなどすれば、活動を知らない方にも知ってもらえたり、これから増やさない活動にもつながると思います。ぜひ市の動物病院と提携して進めていただきたいです。それでも生まれた命に対して、殺処分だけでなく迷い犬のようにフェイスブックなどから募集をかけて飼い主を探す等、できないものかと思います。
- ・猫を里親団体から引き取りましたが、現在おかれている野良猫の状況を知り、驚きとショックでいっぱいです。私がそうであったように、知らない人はたくさんいると思います。里親団体さんの話を聞いたり、地域猫について学べる場がもっとほしいです。
- ・里親を探すような活動もいいのでは。
- ・ドッグセンターなどで、犬をいらない人、いる人の交換会みたいところが新居浜にもあるのでしょうか。
- ・動物愛護団体を通じて、市で講習会を開催するか、望まない命を増やさないための手当等を愛護団体にしたらどうかと思います。
- ・無責任な飼い主を増やさないよう、知識をたくさん提供すべきだと思います。
- ・とにかく飼い主の責任だと思うので、最後まで捨てないで飼ってもらいたい。捨て猫をした人に罰金を科すとか？やりすぎでしょうか。
- ・無責任な餌やりはやめた方がいいと思う。
- ・放し飼いが一番良くないと思うので、放し飼いもしくは野良の犬や猫は保護施設をつくって管理するのがよいと思うが、そう簡単ではないのもわかります。

<まとめ>

近年、ペットは家族の一員というコンパニオンアニマルとしての意識が高まってきています。ペットを飼われている方は適正飼育に努めており、大切に飼われていることと思いますが、反面、動物が苦手という方もおられると思います。今回は近隣のペット・動物に対する市民の方のリアルなご意見を業務の参考にさせていただきたくアンケートを実施しました。

近隣で飼われている犬猫で迷惑を感じたことがあるという方は、犬について、1番がふん尿の放置(67人)、2番目が鳴き声(42人)において迷惑をしていると回答しており、上記の二つの要素が迷惑と感じる要素の半数を占めていましたが、その反面、61人の方が特に迷惑を感じたことはないと回答していました。猫に関しても同様で、迷惑と感じている原因の1番がふん尿の放置(82人)となっていました。また、問11の犬猫の飼い主の方に最も望む2つのことに関しても、1番が排泄物の適正処理を希望する(109人)となっており、放置されているふん尿については誰もが不快感を感じるものであることから、ふん尿の放置を防止するために、より効果的な啓発が求められていることがわかりました。

近年、増加している野良猫の問題に関しては、野良猫問題に対する一つの対策方法である「地域猫活動」をご存知でない方が全体の8割を占めており、まだ一般には「地域猫活動」が認知されていないことがわかりました。今後も増加していくことが予想される野良猫の問題については、野良猫に対する正しい知識や、「地域猫活動」等の対策方法を周知・普及啓発していく必要があると感じました。

毎年市政だよりに啓発記事を3～4回程掲載し、啓発を行っていることに対しては、約半数程度の方に、啓発効果があると回答していただきましたが、同じく、半数程度の方が効果がないと回答されていました。適正飼育等の啓発に有効と思われる方策については、「市政だよりで目立つように特集を組む」、「動物病院等でのチラシの配布」、「動画の作成や、HPやSNS等インターネットを活用した啓発」、「殺処分数などの負の側面も取り上げてほしい」等のご意見をいただき、従来の啓発形態に寄らない、より多くの方が効果を実感できる、新しい啓発方法を検討していく必要があることを実感しました。

ペットの問題に関しては、飼い主の方の意識や、モラルによるところが多いため、問題の改善には、飼い主への啓発が非常に大きな割合を占めています。今後、回答していただいたアンケート結果を参考にし、市民の方に伝わる・わかりやすい啓発を目標に、人とペットが気持ちよく共生できる環境づくりに努めたいと思います。

(担当課：環境保全課)

